



1997年度 部報

# 力漕

Vol. 5

**WILD ROVER CREW**

同志社大学体育会漕艇部



50年の感謝をこめて  
21世紀の夢へ、セキスイは  
あなたとともに

プラスチックが日本の暮らしを変えていく。ちょうど50年前の今日、積水化学は確たる志を胸に未知の分野への挑戦を始めました。新素材への夢は、やがて時代とともに領域を越えて拡がり、住宅を中心に住宅資材・生活用品など暮らしを快適にする分野へ。社会を支えるライフライン関連のほか、産業・医療の分野でも。いまでは、暮らしの身近でかかせない製品として、私たちの夢の多くは実現しました。振り返れば、みなさまとともに歩ませていただいた「一緒に暮らす」の半世紀でもあります。

新しい世紀を目前にひかえた今、セキスイは次代の夢の実現に向かって、あらためて「一緒に暮らす」の意味をかみしめます。生活者としての視点の大切さ。共生していくことの重み。どれだけ時代が変わろうとも、どれだけ領域が広がるうとも、深く胸に刻んでおくべきこととして。21世紀もセキスイは、みなさまの暮らしのすぐそばで、信頼と満足をお約束する魅力ある企業をめざします。一緒に暮らす、セキスイと。今日から始まる私たちの新世紀への歩みにご期待ください。

一緒に暮らす、セキスイと。

SEKISUI

積水化学工業株式会社 〒530 大阪市北区西天満2-4-4

積水化学インターネットホームページアドレス <http://www.sekisui.co.jp/>  
企業案内、新技術情報や新製品情報のほか「社員が語るセキスイ」をはじめとした採用情報などにアクセスできます

積水化学がお届けするテレビ紀行番組。ぜひ、ご覧ください。

道には、歴史があり、謎があり、発見がある。世界の道、日本の道を旅し、人間の足跡をたどります。毎週日曜午前11時～11時30分 TBS系全国ネットで放映中

《目次》

ごあいさつ	1
新シーズンに向けて	2
1996年活動報告	4
1996年度活動報告	16
出遣クルー一覧	17
年間成績一覧	18
会計報告	21
卒業生のことば	30
お知らせ	48
お悔やみ	49
伝言板	50
名簿	50
卒業生名簿	50
現役名簿	50
編集後記	54

部報 力漕



《 目 次 》

1	.....	へるのよこ
2	.....	アサ向コベスービ薄
4	.....	吉野博
81	.....	ボート部部長 岡本 博公
71	.....	吉野博
81	.....	吉野博
12	.....	吉野博
26	.....	吉野博
36	.....	おらこの卒業卒
44	.....	吉野博
49	.....	吉野博
50	.....	吉野博
52	.....	吉野博
42	.....	吉野博

ごあいさつ

ボート部部長 岡本 博公

昨年8月、私たちは痛恨の事故によって大切な仲間を失ってしまいました。誠に残念なことであり、悔やんでも悔やみきれません。

その後、先輩方の協力も得ながら、二度と悲しい事故を起こさない決意のもとに、事故の反省と安全のための活動をつづけ、本年三月、ほぼもとのスタイルでの部活動の再開にこぎつけました。

この間、様々な形でご助力いただきました関係各位の方々にこの場を借りて厚くお礼申し上げます。ほんとに言葉に表しがたいほどのご厚情をいただきました。

今は、故田中範興さんのご冥福を祈り、ご遺族の方々のいやせぬ悲しみを思いながら、一段と規律と自覚ある活動を心がけるばかりです。

今後とも、変わらぬご支援をお願いするばかりです。

## 新シーズンに向けて

### 《1997年度コーチングスタッフ》

監督 田中 重次郎

「1998年 3月を迎えて」

1997年を振り返ると同大ボート部にとって最大の試練の年であります。

4月末 小野木伸艇友会会長急逝～エイト復活に大きな熱情をかけていただき、同大エイトの勇姿をお見せできなかったことが心残りです。

7月末 エイトで好成績が望まれた関西選手権大会が中止。

そして、8月8日午前7時30分瀬田川唐橋での新人フォア遭難事故、一回生田中範興君の命を失うという最悪の事件を経験しました。正しく、8月8日に同志社ボートの歴史が停止するかと思える一大事件でした。小生の人生観を大きく変えてしまう激動の一年になりました。

一大試練は突如、現実となって襲ってきたのですが、耐える力を要求されているのだと考えます。「体力」即ち「耐力」これを支えるのが熱き思い、熱情なのです。ボートに対する情熱、人生に賭ける熱情が冷めかけていたのではないだろうか？今、再び熱き思いを呼び起こし、熱情を持って事にあたる覚悟を決める必要があるのです。熱く燃えて生きる。1997年8月8日を決して無駄な一日としないように新しい歴史に向かって力強く漕ぎ出したいと考えます。1998年を新たな歴史を刻む記念の年とできるようボート部員一丸となって頑張っていく所存です。

奇しくも同志社エイトの初優勝は、1969年であります。30年目にして巡りきた大試練の年です。坂口キャプテン率いる現役部員の士気は高く、本年2月後半には30年前と同じ高知への遠征合宿で体力強化を実現させています。そして、待望の3月1日の乗艇練習を再開できる日を迎えました。全員で涙を流し、反省を込めて安全対策に真剣に取り組み、12月15日以降体力強化に励みながら艇に乗り込み、オールを握れる日を夢見てきたのです。3月1日朝から天気は荒れ気味でありましたが史上初めて行う出漕式を実現する2時頃には天候も落ち着き、祈祷の間には時折陽光が顔を出す感動的な一日を迎えることができました。7ヶ月ぶりに出艇した対校、ジュニア両クルー共に緊張感漂う中、彼らの心の底から湧き出る喜びで、ワイルドローバーが輝いて見えました。大きな夢を目標に、苦しみに耐え抜いて、今夏は大きな喜びを皆で味わいたいと誓い合っています。今週から、辛い、苦しい乗艇練習の毎日が夏まで続きますが、オールを握れたこの日の喜びを

忘れず、部員全員で頑張っていきたいと思います。

人間相互の能力は基本的に差はありません。その差が生じるのは各人の「やる気」と「やる時間」に違いが生じるためです。

今、何をすべきか、常に挑戦者意識を持って、明確な意図と目標を見つめながら、毎日の練習に集中していくことが肝心です。一段上を目指すことを原動力として全員の集中力養成に励む所存です。熱く燃えて生きる。Our History Again!

97年8月8日を決して無駄な一日としない為に！

1998年3月3日

コーチ 押領司哲也

復活の兆しと大事故。昨年は色々な意味で同志社大学ボート部のあり方が問われた年でした。選手、マネージャー、コーチングスタッフ、OB会それぞれがそれぞれの役割を今一度見つめ直す時ではないかと思えます。

1998年は何かと注目される年となります。そして、今後の同志社大学ボート部の浮沈を賭けた一年ともいえます。コーチとして学生達にしてやれることは何か、そしてコーチングを通じて自分自身をどう成長させていけるか。とことん追求していきたいと思えます。

最後になりましたが、私達の漕友田中君のご冥福を心よりお祈りいたします。

## 《現役部員》

### <新4回生>

主将 坂口 健



僕はエイトで勝つためにボート部に入り主将になりました。一回生の時からエイトで負け続けて、3年が経とうとしています。そろそろ僕がヒーローになる頃です。死ぬほど苦しかった陸トレ期間を終え、我が部は非常に盛り上がっています。また数々の試練を乗り越えてきた本当に強い部員達を引っ張っていきことに最高の喜びを感じています。

8月のインカレでは決勝レースで同志社クルーをお見せしましょう。今まで悔しい思いをしてきた先輩方は8月まで我慢して下さい。そして、インカレの決勝で一気に爆発させて下さい。同志社大学ボート部の本当の強さを関東の奴らに見せつけてやりましょう。

主務 網嶋 雄一郎



合宿所があり、ボートがあり、オールがある。そして我が同志社クルーが瀬田川で何のものにも干渉されずに艇を走らせている。私はこのことに喜びを感じ、感謝したい。

主務となって7ヶ月、副務から数えて10ヶ月が経った今、これまで当たり前だと思っていたことを再確認するようになった。目標に向かってただ突っ走るだけでなく、このような気持ちを大切にしたいうえで日々を過ごすべきではないだろうか。

「今」に満足することなく、自分が思うより一つ上を常に目指し、同志社大学漕艇部を築きあげたい。

副将 和泉 智彦



今までは一つ一つの練習をこなすことが精一杯であり先の事など考えられなかった。しかし、これからは、皆のやる気を奮い立たせ、練習をしやすいよう

に指揮し、先のこともある程度考えなければならない。まだまだ不慣れな事がとても多く、漕手以上に吸収すべきものを吸収しないと、クルーとしての向上はないだろう。このシーズンは自分自身の新たな出発でもあるので皆と一緒に努力したい。努力したものが常に成功できるとは限らないが、成功した者は何らかの努力はしているものと考えている。自分も、クルーもクラブ全体も成功する日を目指して、努力していきたい。

トレーナー 寺田 忠則



1998年(2月)に入り、残すところあと半年ほどになってしまいました。大学に入学したのがつい最近のように思えるのですが、今年で、未熟な僕も四年目の大学生活と、ボート部の最上級生となる時期がやってきました。この時期になり、就職活動をするにあたって、「本当の大人」になる、第一歩を踏み出し賭けている気がします。真剣に取り組んだ大学の勉強(ボート部員にしては珍しいとは思いますが)とボート部の活動によって、この第一歩が可能になったことを感謝します。

皮肉ながら、四年目を迎える今となってやっとな、同志社大学ボート部の本来の強さを感じることができるようになりました。現役残すところあとわずか、というときになるまで、ボート部の本来の「強さ」や「ありがたさ」がわからなかった、もしくはわからないという点もとても皮肉です。

残りわずかの二度とない合宿生活が生の中での貴重な体験となるように楽しみ、そして、もう聞き飽きた「今年こそ!」を実現するために、今まで以上に努力していきたいと思います。

副務・学連 玉置 智雄



拳を突き上げ、歓喜の雄叫びを上げ、勝利に酔い痴れる…。

高校時代、陸上でその夢を果たせず大学での再起を誓い、ボート部に入部した。ボートで勝利を目指して3年、その夢を果たせないまま、私はボートを降り、マ

ネージャーの役に就いた。志を遂げられなかったことは後々まで悔やみ続けることになるだろう。

しかし「これからオレは何をすべきか」と考えたとき、まず現実を受け止め、そして強いクラブの土台をマネージャーが創っていくことだと思った。その土台の上で漕手の努力が実を結び、今夏の勝利の喜びを分かち合えればと思っている。



副務・会計 牧之瀬 寛

高校から始めた長いボート生活も、最後のシーズンとなりました。その年に漕げないのは、やはりつらいです。今、自分に何ができるかを考え、悔いの残らないようにしたいと思います。

自分のために、相手のためにがんばろう。

結果をおそれず、自らの意思で全力をつくそう。

そして最後に笑おう。



石田 あづさ

最上回生になり、戸惑うことは多くありますが

私は今まで薄れていた「部員を思いやる気持ち」を再発見できたように思います。マネージャーとしての仕事をすることは大切なことだと思いますが、決して十分ではないと思っています。形式よりも目に見えないことの方が大切ではないかと思っています。部員には一つのことにとらわれず、自分自身を失わず、何にもコントロールされることなく日々艇を漕いでほしいし、私たちマネージャーや先輩方、同志社大学ボート部を支援して下さる方々の応援を追い風にしてインカレの決勝に立って欲しいと思います。何よりも大切なこの気持ちを日々大きく持ち続けて、刻々と近づいてくるインカレに向かって少しでも部員の追い風になることができるよう、私自身も形式や他の何かにとらわれてしまったりしないように8月に戸田で泣き笑いをしているみんなを夢見て、頑張りたいと思います。



河野 宏美

実は二回生からこのボート部に入った私は、最上回生になる日が来るなんて考えてもみませんでした。いい加減だった私をあたたかく受け入れて下さった先輩の皆さんや屈託なく仲間に入れてくれた同回のみんな、また、キャリアがない未熟な私についてきてくれた後輩のみんな、さらに、いつでも、ボート部を忘れないで協力下さるOBの皆様に感謝しています。

あと半年という短期間に私ができることはわずかですが、できるだけことは全てやれるよう顔を上げて努力していきます。



中島 千尋

『一生懸命やるしかない』その気持ちだけで入部して3年が経ちました。部では最上回生となり、今まで気づかなかった仕事が一気に流れ込んできたような感じがしました。充実感を感じる一方、その責任の重さとやるべきことの多さにつぶされてしまいそうになるときがあります。そんな時、私を前向きな気持ちにしてくれるのは、部員が頑張っている姿です。心のモヤモヤが消えて、また頑張ろうと素直に思えます。部を支える役割の私が、実は部員や親身になって下さるOBの方々、そして何よりも同回のみんなに支えられてここにいることを、今つくづく実感しています。ボート部で過ごす時間も残りわずかとなりました。今度は私が部を支える番です。大切な、そして大好きなボート部の目標でもあり、私の夢でもあるインカレ優勝にむけて、初心を忘れず全力を尽くすこと。それが今一番の目標です。

## <新3回生>

大山 智司



私はエイトに乗った経験が浅く、これからエイト中心でインカレ優勝を目指していく同志社のチームでどれくらいの力を発揮できるか分からない。しかし、ボートの経験は浅くとも、高校の時にはラグビーをしていたため、体力と根性にはボート経験者にも劣らない自信がある。この、今まで培ってきた体力と根性に、ボートに対する情熱と技術をプラスして、古豪同志社の復活を目指し、まずはインカレ決勝進出、そしてインカレ優勝を目標に頑張りたい。

亀井 健治



今年は、去年の分まで精一杯頑張る。

出場したレースでは、入賞できる毎 MOTION を大切にしていきたい。最終的には、インカレで、去年のブランクを埋めても余力ある力をつけて決勝までコマを進め、オッ盾でも学生の中では上位に食い込んでいきたい。とにかく、冬の練習量が少なかった分、これからの乗艇練習を大切に、古豪復活といわれるくらいのクルーを作りたい。

北谷 充



我が母国、岡山を出発して2年が過ぎた。戸田に向け、出発した高校時代の悪友の嫌な噂ばかりが耳に入ってくる。全日本新人優勝、インカレ2位、etc....。悪友に私の噂が届くのは、いつだろうか？ そろそろ私の剛脚も焦りを感じているのではなからうか？

高校の愛しき恩師に学んだ「人は望むところまで強くなれる」という言葉はいつでも私の HEART を射止めてきた。

望むところ、それは…。

私は、思い出に終わりにたくない。  
歴史になりたい。

ALL FOR ONE, ONE FOR ALL.

小松 正彦



今シーズンでボートを初めてから6シーズン目を迎えた。しかし、昨シーズンは怪我と病気で全くと言っていいほど何もできなかった。そのためこの一年は何もできないというつらさを深く感じた。そこまで辛い思いをしたのだから今年はいいいことがあるだろうと思うのだが今年のおひつじ座の運勢は悪いという事を聞いてしまった。しかし、今年「めざましテレビ」の運勢のランキングは一位だったのでよいことにして、今年「インカレ優勝！！」これを実現するために最大限の努力をして、ボートというスポーツを楽しみたいと思います。

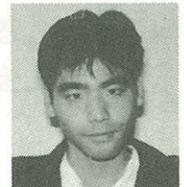
高橋 輝



昨年全日本選手権のビデオを何回見たことだろう。社会人クルーを寄せ付けない中央大学の圧勝。やってみよう。自分も戸田で、そんなレースをやってみよう。その一心でこの一年間やってきた。

三年目のシーズンを迎え、部内での責任が重くなる一方、自信もついた。部全体も活気に満ちあふれ、準備万端である。今年戸田漕艇場で公開されるドラマの主役はオレ達、同志社 WILD ROVERS だ！！

若杉 圭



今は二月の中旬、高知合宿が終わればよいよ乗艇が始まる。強い同志社、つまり速いエイトを作るためにはどうすればよいか。体力向上も重要だが、もっ

と考えて練習しなければならないと思う。どんな練習をするにしてもそれがなぜ必要なのかをよく考え、疑問があれば迷わず聞くようにする。そうしなければ実際の試合では役に立たない。それから、部員全員の意識の統一。部員がそれぞれ別の方向へ向かわないように意思の疎通を大切にして信頼関係を崩さないようにする。これだけのことができればエイトは必ず走るはず。OBの方々の手によって復活しようとしている同志社漕ぎ、を信じて、インカレまでの半年間を乗り切っていきたい。



赤坂 知紗

勝利を目指し、その喜びを共有できることがスポーツの魅力だと私は思う。大学ではマネージャーとして仲間に加わりたいと思い、ボート部に入部した。今、ちょうどその折り返し地点に立っている。

振り返れば、先輩から与えられた仕事とご飯作りで精一杯でそこに楽しみを求めていた。

しかし、体育会のマネージャーは当然ながらあくまでも、選手を支える裏方である。時には私の求めているものは結局選手の努力によって得られたものであって、私が一体どれほど貢献できているかと考えたりもする。また、私自身が勝負の表舞台に立っていた頃を懐かしく思う日もある。

最近回が上がるにつれて思うのは、マネージャーだからこそ自分を成長させることができるということだ。マネージャー誰一人として「やってあげている」と思っている者はいない。

これからクラブを運営する立場となると、今まで以上に自分の仕事に対する責任が重くなり、数々の困難に直面すると思うが、自己形成において意義あることだと確信している。



殷 麻衣

ボート部で過ごした2年間、もしこの部にいなければ出会わなかっただろうたくさんの人に出会い、色々な経験をすることができました。うれしかったことだ

けではなく、つらかったこともあります。でも、「ありがとう」というたった一言や、些細なことでも新たにがんばろうという気持ちになれました。

漕手のみんが“勝つ”ことに専念できるように、そして私も少しでもその喜びを分かち合えるように、精一杯がんばっていきたいと思います。



田中真由子

昨年の力漕の原稿を書いてから一年近く経ち、改めて思い返してみるとあの頃とはマネージャーという仕事に対する考え方が違ってきたことに気がつきます。一回生の頃は楽しいと言うだけで仕事をしてきましたが、後輩もできたこと、また、漕手に対しての想いの変化などいろんな事が重なり合い、マネージャーとはいかに奥の深いものであるのかという問題に直面し続けた一年でした。その答えはまだ得ることができていませんが、日々を精一杯頑張り、自分自身のマネージャー像を作り上げていければと思っています。

## <新2回生>



井口 順太

この大学に入学した時、ボートという競技をやることは全く頭になかった。しかし、先輩の勧誘がきっかけでこの部に入部してみると、ボートという競技は難しく、非常に高度な技術が必要であり、同時にとてもやりがいのあるスポーツであることを実感した。毎日厳しい練習の日々であるが、それ以上にここの寮生活は楽しく、本当にこの部に入って良かったと思っている。自分自身の目標は、早く対校エイトに乗り、同志社の代表として他の大学と戦うことである。そしていつの日か戸田で一位の表彰台に上がり、全国に同志社復活の雄叫びを上げたい。





吉田 亮

僕自身、今まで真剣にスポーツに打ち込める機会が少なかったのですが、ボートという競技は、大学から始めても通用するカレッジスポーツと聞き、入部しました。体力やボートの技術、知識もまだまだ未熟ですが、インカレ優勝というクラブの目標に少しでも貢献できるよう、自分の役割を果たしていきたいと思いません。また、合宿生活を、仲間と共に自分自身を成長できる場にしたいです。



菊山 峰子

私がボート部入部して、約一年が経ちました。初めは緊張していた合宿所にもずいぶん慣れてきました。

マネージャーの仕事は、探せばとてもたくさんあると思います。今は与えられた仕事をするのが精一杯ですが、先輩方のように自分でやるべきことを見つけることのできるようになりたいと思います。そして、マネージャーの仕事を通して、ボート部の勝利に貢献できるようにがんばりたいと思います。



津田 弥紀

ボート部に入部してもう一年が経ってしまいました。この一年というのは本当にあっという間だったような気がします。ボートについて何も知らず、マネージャーをするのも初めてのことで、この一年間数々の失敗を重ね、先輩方や同回生の方々に何度も助けていただきました。ボート部のマネージャーとなってまだ一年。これからも、色々なことを学び、経験して、一人前のマネージャーになっていきたいと思いません。



中嶋 紗恵子

ボートについて全く無知で無縁だった私が、水の上をすべるようなその姿に魅

せられ、大きな希望と期待を抱いて入部してから一年がたちました。ボートという競技は想像していた以上に奥が深く、まだまだ自分の勉強不足を感じていますが、マネージャーとしてはこの一年、先輩方に多大な迷惑をかけながらも、本当にいろいろなことを学ばせていただきました。今年はその経験を生かして、同志社大学ボート部にふさわしいマネージャーとなれるよう、さらになんげりたいと思いません。



朝日レガッタ Jr. 蹴り出し前

## 《1997年度ボート部活動予定》

1月20日～23日 }  
27日～30日 } 通い練習

1月24日～25日 }  
31日～2月1日 } 週末合宿

1月31日 同志社スポーツユニオン祝勝会

2月11日 総会

12日～26日 遠征合宿  
高知県立青少年センター

28日 集合 (メンバー発表)

3月1日 漕ぎ初め (乗艇開始)

- ・ 神学部教授によるお祈りを予定
- ・ 学生課、体育会本部員参加予定

3月14日 同志社大学体育会総会

### 参加予定試合

5月2日～5日 朝日レガッタ

7月24日～26日 関西選手権、瀬田杯レガッタ

8月20日～23日 全日本大学選手権

22日、23日 オックスフォード盾レガッタ

## 1996年度活動報告

### 《年間スケジュール》

'96.	9.24	幹部交代
	9.24	合宿所入り
	10.29	学内レガッタ
	11.25～12.23	クラブバイト期間
	11.24	HEAD OF THE SETA
	12.24	京大戦
	12.27	納会
'97.	1.2	新春初漕ぎ会
	1.4	練習再開
	2.11	同志社艇友会総会・卒業生送別会
	4.1～5	オリエンテーション期間 田辺校地にて新入部員の勧誘活動
	4.12	新入生試乗会
	4.19	新入生試乗会
	4.26	新入生歓迎バーベキュー大会
	5.2～5	朝日レガッタ (於 琵琶湖漕艇場)
	5.18	新入生歓迎コンパ 新入部員 一回生12名
	5.30～6.1	中日本レガッタ (於 愛知池)
	5.31～6.1	新人ナックルレガッタ (於 琵琶湖漕艇場) 一回生2クルーが出漕
	6.12～16	全日本選手権 (於 戸田漕艇場)
	7.25～27	関西漕艇選手権大会 (於 琵琶湖漕艇場) →26日以降台風のため中止
	7.27	新艇 Wild Rover 14 世 進水式
	8.8	フォア転覆事故勃発

## 《出漕クルー一覧》

### 朝日レガッタ

(対校エイト)

- S 山崎 安雅
- 7 有馬 誠生
- 6 中原 輝宣
- 5 竹野内 直毅
- 4 渋谷 一郎
- 3 内藤 竜一
- 2 高橋 功
- B 岩田 勇人
- C 高石 徹

(Jr. エイト)

- S 坂口 健
- 7 高橋 毅
- 6 末広 恭一
- 5 北谷 充
- 4 山岡 基
- 3 網嶋 雄一郎
- 2 寺田 忠則
- B 玉置 智雄
- C 石橋 欣也



朝日レガッタ Jr. クルー



朝日レガッタフォアクルー

(フォア)

- S 高橋 輝
- 3 大山 智司
- 2 巖川 仁志
- B 岡前 秀彦
- C 徐 東駿

(シングルスカル)

- 和田 大輔
- 和泉 智彦
- 若杉 圭

### 中日本レガッタ

(エイト)

- S 坂口 健
- 7 高橋 毅
- 6 末広 恭一
- 5 北谷 充
- 4 山岡 基
- 3 高橋 輝
- 2 寺田 忠則
- B 玉置 智雄

(ダブルスカル)

- S 牧之瀬 寛
- B 古川 顕生



中日本レガッタダブルクルー

### 全日本選手権競漕大会

(エイト)

- S 山崎 安雅
- 7 有馬 誠生
- 6 中原 輝宣
- 5 竹野内 直毅
- 4 渋谷 一郎
- 3 内藤 竜一
- 2 高橋 功
- B 岩田 勇人
- C 高石 徹



全日本レガッタ対校クルー

### 新人レガッタ

(同志社Aクルー)

- S 宮本健吾
- 3 辛島大輔
- 2 菅原誠一
- B 銭谷剛志
- C 徐 東駿

(同志社Bクルー)

- S 塩見 祐人
- 3 井口 順太
- 2 田中 範興
- B 空田 一馬
- C 巖川 仁志



朝日レガッタ Jr. レース風景



朝日レガッタフォア レース風景

## 《97年度年間成績一覽》

### 第50回 朝日レガッタ

1997年 5月2・3・4・5日

於) 滋賀県立琵琶湖漕艇場

#### <男子エイト>

##### 予選

1	大阪市立大学	4	3' 25" 95
2	同志社大学	3	3' 23" 46
3	鹿児島大学	2	3' 16" 62
4	NTT東京	1	3' 10" 07
5	立命艇友会	5	3' 27" 51
6	碧青艇友会	6	3' 32" 41

##### 準々決勝

1	関西学院大学	6	3' 09" 24
2	近畿大学	2	3' 01" 90
3	立命館大学	4	3' 02" 85
4	滋賀大経済学部	5	3' 05" 49
5	鹿児島大学	1	2' 59" 27
6	同志社大学	3	3' 02" 21

##### 準決勝

1	同志社大学	5	2' 59" 61
2	鹿児島大学	2	2' 54" 07
3	東レ滋賀	1	2' 50" 89
4	中部電力	3	2' 54" 60
5	京都大学	4	2' 58" 62
6	龍谷大学	6	2' 59" 90

決勝	1	東レ滋賀	3	2' 50" 76
	2	湖南省体育運動会	4	2' 51" 36
	3	NTT東京	2	2' 50" 28
	4	中部電力	1	2' 48" 52
	5	鹿児島大学	5	2' 55" 60
	6	近畿大学	6	3' 00" 26

<舵手付きフォア>

予選	1	同志社大学	4	3' 56" 16
	2	愛媛大学	3	3' 47" 87
	3	京都大古豪会	棄権	
	4	三洋電機滋賀	2	3' 45" 18
	5	鳥取大「翔風」	5	4' 09" 29
	6	関西大学	1	3' 35" 82

決勝	1	東レ滋賀	4	3' 10" 46
	2	NTT関西	5	3' 12" 51
	3	品川白煉瓦	6	3' 15" 56
	4	NTT東京	2	3' 04" 67
	5	中部電力	3	3' 07" 74
	6	明治生命	1	3' 04" 15

<シングルスカル>

予選	1	和田(同志社大)	4	3' 55" 57
	2	森(徳島大)	5	4' 22" 87
	3	山口(滋賀医大)	3	3' 52" 26
	4	安東(岡山医大)	2	3' 46" 83
	5	山本(浜寺RC)	1	3' 45" 38

1	田中(三洋電機滋賀)	1	3' 44" 45
2	今井(瀬田漕艇ク)	4	3' 49" 41
3	四ッ谷(立命館大)	3	3' 47" 90
4	和泉(同志社大)	6	3' 58" 41
5	栗野(京都教育大)	5	3' 54" 76
6	遠山(龍谷大)	2	3' 44" 79

決勝

1	中溝(NTT東京)	3	3' 34" 68
2	武田(愛媛大A)	1	3' 24" 61
3	吉田(三洋電機滋賀)	4	3' 35" 81
4	金山(神戸大)	6	3' 48" 26
5	駒井(東レ滋賀A)	2	3' 32" 81
6	宮崎(NTT関西)	5	3' 38" 87

(朝日レガッタの感想)

シングルスカル 四回生 和田 大輔

朝日レガッタに関しては、本当に申し訳なく思う。くじ運も一番良く、コースも一番波の影響を受けない1コースだったのに負けてしまった。敗因は、スタートをしたこと、途中「ブイ」に当たって腹を切り、かなりの時間のロスを余儀なくされたことなど、いろいろあるが、最大の原因は、漕いでいる最中に「負けるかもしれない」と思ってしまったことだと思う。自分を最後まで信じ切れなかったことだと思う。たった三、四分の間一それは本当に短い時間だと思う一でさえも、自分を信じ切れなかった。改めて、自分の存在の小ささを認識させられる。

この前の木曜日、僕は誕生日を迎えた。もう二十年も生きている。いろいろな人に出会ったな、と思う。いろいろなものを見てきたな、と思う。昨年の朝日レガッタでの土肥君の嵐の中の力漕。ゼミの「縦コン」の帰りの竹野内君との喧嘩。渋谷君の就職リクルーターへの愚痴・・・

いろいろな体験をし、いろいろな経験を積んでも、結局何年か前と同じ誕生日を迎える自分がある。それはとても悲しいことだ。

関西選手権頑張ります。応援よろしくお願いします。



朝日レガッタ 対校レース風景



朝日レガッタ 蹴り出し

トレーナー 四回生 徐 東駿

今回の朝日レガッタは例年になく寂しいものだった。対校以外のクルーは初日で姿を消し、その対校ですら準決勝で敗れてしまった。冬の厳しいトレーニングの日々を思い出すとこの結果はあまりにも寂しすぎるように思える。

年間スケジュール的には、1、2月中に集中して陸上で体力をつけ、3月以降乗艇中心メニューに切り換えたが、果たして冬の猛練習がシーズンに活かされているかどうかは、いささか疑問が残る。

たしかに短期間で体力をつけることは易しくはないけれど、可能ではある。しかし、この力をシーズンに持ち込むのは非常に難しい。特に詰め込み式の一時的なパワーはつきやすいが、また落ちやすい。こうした考えをふまえて、今確実についてる力はどれくらいか、また、これからインカレで勝つためにはどのくらいの力が不足しているのかを考えてみたい。

フォア BOW 二回生 高橋 輝

クルーがたびたび入れ替わり、仕上がりに多少の不安を残し漕艇場に向かった自分達だった。しかし、試合前のウォーミングアップを繰り返すうちに「ひょっとして勝てるのでは」という雰囲気がクルー内で盛り上がった。

スタート三分前のコールがかかり、スタート地点に向かったが強風のためなかなか艇をまっすぐにつけられない。

「用意。ロー」 艇が曲がったままレースは始まった。出遅れた自分達であったが、コンスタントは練習以上のものがでた。500mをすぎて四番手。「差せる、いつか差せる。」そう自分に漕ぎ続けたが、あと少しのところまで届かなかった。あっという間の1000mだった。

負けていながらこんなことは、本当は言うてはいけないが、自分は十分にレースを楽しんだ。次回は、勝負に勝ってレースを楽しみたい。

## 97年度関西学生新人レガッタ

1997年5月31日6月1日

於) 滋賀県立琵琶湖漕艇場

(予選)	同志社大学 A	1	2'19"75
	京都府立医大	2	2'26"50
	京都大 A	3	2'30"61
	滋賀大経済 C	4	2'42"69
	関西大 A	5	2'43"71
	神戸大 F	6	3'00"69

	滋賀医科大 B	1	2'13"79
	近畿大 A	2	2'20"70
	同志社大 B	3	2'26"07
	追手門学院大 B	4	2'46"53
	神戸大 C	5	3'04"40

(準々決勝)	滋賀医科大 B	1	2'11"75
	追手門学院大	2	2'16"37
	同志社大 A	3	2'17"33
	京都大 D	4	2'22"07
	大工大 D	5	2'28"35

	大阪市立大	1	2'02"88
	京都大 C	2	2'13"82
	京都大 A	3	2'17"93
	大工大 B	4	2'19"21
	同志社大 B	5	2'29"39

(新人レガッタの感想)

一回生 宮本 健吾 (同志社大 A)  
新人ナックルレガッタに辛島、菅原、銭谷と共に出漕した。

試合一週間前にクルーを組み、少し焦りを感じながら練習した。それでも、試合前日には、それなりに漕げるようになっていたと思う。

試合一日目、他大学のクルーを見て、勝てると思った。案の定、予選では圧倒的に僕たちは一位だった。一日目が終わったあと、かなりいいところまでいけると確信した。

試合二日目の準々決勝で、二百メートル地点で二番のシートが外れた。そこで、僕たちは焦ってしまったように思う。ゴール手前まで二位だったが最後に抜かれ、結果は三位で準決勝に残ることができなかった。シートが外れても、落ち着いて漕げば十分に勝てたと思う。悔しさが残り、残念な結果に終わったがこれをバネにして、四年間のボート生活をがんばっていきたいと思う。

一回生 空田 一馬 (同志社大 B)

「まあ、ナックルレガッタやし、気楽にやれよ。」と、色々な先輩達に言われた。もちろん先輩達は、僕らをリラックスさせようと思って言ってくれたんだと思う。しかし、僕らにとっては初めての試合。気楽に、なんて気持ちは持てなかった。一ヶ月足らずの練習で、もう試合があるというのは、試合がある、という嬉しさももちろんあったが、それ以上にそれだけで一体何ができるのか、という気持ちが大きかった。しかし、試合自体は結構楽しんでやれた。結果は大したことはなかったが。

これからも、いろいろと試合に出ることがあると思う。そのたびにもちろん結果を出していきたい。でもそれ以上に楽しんでできるようにこれからもボートという競技に取り組んでいきたいと思う。

# チームウェア作ろう!

オリジナルウェアショップ



## CLUB GALLERY 1/80

HACHIYU BUNNO ICHI

・京都4カ所 1F: 075-231-7484    ・心斎橋OPA 5F: 06-258-3805  
 ・梅田エスト-1: 06-374-3473    ・三宮東急ビル 6FB: 078-332-0057

カタログのご請求は上記までお電話で。



新人レガッタにて

## 第42回中日本レガッタ

1997年5月30・31日・6月1日

於) 愛知県立愛知池漕艇場

### <男子ダブルスカル>

一次予選	1	名古屋大	4	3' 43" 61
	2	全諏訪	2	3' 30" 27
	3	関西電力美浜	1	3' 23" 18
	4	同志社大	5	3' 34" 91
	5	追手門学院大	棄権	
	6	デンソー	3	3' 28" 47
	7	愛知工業大	6	3' 53" 20

一次敗復	1	京阪電鉄	2	3' 34" 61
	2	同志社大	1	3' 33" 15
	3	名古屋商科大	3	4' 05" 39

二次敗復	1	名古屋大	1	3' 32" 11
	2	名古屋工業大A	5	3' 47" 69
	3	デンソー	2	3' 35" 74
	4	富山大	4	3' 45" 01
	5	同志社大	3	3' 39" 39
	6	名城大	6	3' 48" 18

準決勝	1	大同錦艇会・大同工業大混成	2	3' 24" 73
	2	品川白煉瓦	4	3' 27" 19
	3	関西電力美浜	3	3' 24" 94
	4	中京大	1	3' 24" 45
	5	三洋電機滋賀B	5	3' 27" 47
	6	同志社大	6	3' 37" 34

より安全に、快適にスポーツする人のための

CONDITIONING WEAR  
**CW-X**<sup>®</sup>  
 WAGOAL SPORTS

CW-Xは、より安全に、快適に、スポーツを  
 楽しみたい方のために、ワコールが開発した  
 コンディショニングウェアのシリーズです。

決勝	1	全諏訪	2	3' 26" 15
	2	本田技研鈴鹿	4	3' 27" 34
	3	大同錦艇会・大同工業大混成	5	3' 28" 81
	4	トヨタ自動車	6	3' 30" 19
	5	関西電力美浜	1	3' 22" 37
	6	中京大	3	3' 26" 17

<男子エイト>

予選	1	名古屋大「グラント・スラム」	5	3' 27" 72
	2	滋賀大経済B	4	3' 08" 45
	3	中部電力	1	2' 54" 01
	4	同志社大	3	3' 05" 67
	5	名古屋大「伊吹」	2	3' 01" 52
	6	広島大	棄権	
	7	全大同	6	3' 29" 91

準決勝	1	名古屋大「フォトン」	4	3' 06" 81
	2	名古屋大「伊吹」	1	2' 59" 58
	3	中部電力	2	3' 04" 99
	4	同志社大	3	3' 06" 53
	5	南山大「GLIDE」	5	3' 14" 00

決勝	1	関西大	4	3' 00" 44
	2	滋賀大経済A	5	3' 03" 85
	3	中部電力	1	2' 50" 24
	4	同志社大	6	3' 07" 81
	5	名古屋大「伊吹」	3	2' 58" 38
	6	トヨタ自動車	2	2' 51" 13

(コメント)

6月1日快晴。他は全て実業団、対校クルーの出漕となった決勝レース。この中で、同志社Jr.クルーは、スタートから終始他のクルーにリードを奪われ、実力の差を再認識させられたレースであった。



7-31

全日本選手権 対校レース風景

# 第75回全日本選手権競漕大会

1997年6月12・13・14・15日

於) 戸田漕艇場

## <男子エイト>

予選	1	東レ滋賀	1	6' 17" 30
	2	東京大学	3	6' 43" 40
	3	同志社大学	6	7' 06" 10
	4	東北大学	5	6' 53" 42
	5	一橋大学	2	6' 40" 40
	6	関西大学	4	6' 51" 51

敗者復活	2	同志社大学	4	6' 49" 36
	3	北海道大学	1	6' 42" 24
	4	一橋大学	2	6' 46" 35
	5	東海大学	3	6' 48" 44
	6	神戸大学	5	6' 56" 06

決勝	2	トヨタ自動車	3	5' 53" 04
	3	東レ滋賀	2	5' 49" 55
	4	NTT東京	4	5' 54" 43
	5	中央大学	1	5' 48" 30

## (コメント)

6月13日、曇り。予選ではスタートで良い位置をつかんだものの、他にコンスタントで引き離され完敗。その教訓をもとに、敗復では500m~1500mの間のねばりを追求した。0~500でスタートに遅れ、トップ集団と1艇身1/4の差がつき、形勢は不利となったが、追い通りコンスタントでねばり、1600mではトップとキャンパス差以内につめていた。しかし、北大が絶好のスパートを入れ、半艇身の差を奪われると、残り200mで他の2艇にもかわされる。スタートには改善の余地があるが、これまで漕ぎ込んできた成果がコンスタントに現れたレースであった。

# 平成9年度 関西漕艇選手権大会

1997年7月25日・26日・27日

於) 滋賀県立琵琶湖漕艇場

## <男子シングルスカル>

予選	1	吉永 (京都府立大 A)	1	6' 07" 10
	2	井上 (島根大)	4	6' 18" 29
	3	山口 (滋賀医科大)	2	6' 07" 60
	4	和田 (同志社大)	3	6' 14" 60
	5	佐川 (臨海スポC)	棄権	

26日以降台風のため中止

関西選手権中止のため、27日、同志社大、関西大、立命館大、神戸大、名古屋大、京都大、滋賀大経済、九州大、瀬田川ローイングクラブの9団体が模擬試合を行いました。(1300m、9レース)

1	同志社大学	1	4' 06" 23
2	関西大学	2	4' 10" 12
3	瀬田川ローイングクラブ	3	4' 13" 16

1	同志社大学	1	3' 56" 19
2	滋賀大経済	2	*****
3	名古屋大学	失格	

1	同志社大学	1	4' 02" 21
2	神戸大学	棄権	
3	九州大学	2	4' 07" 45

同志社は3試合を行い、3勝0敗で、タイム的にもトップであった。

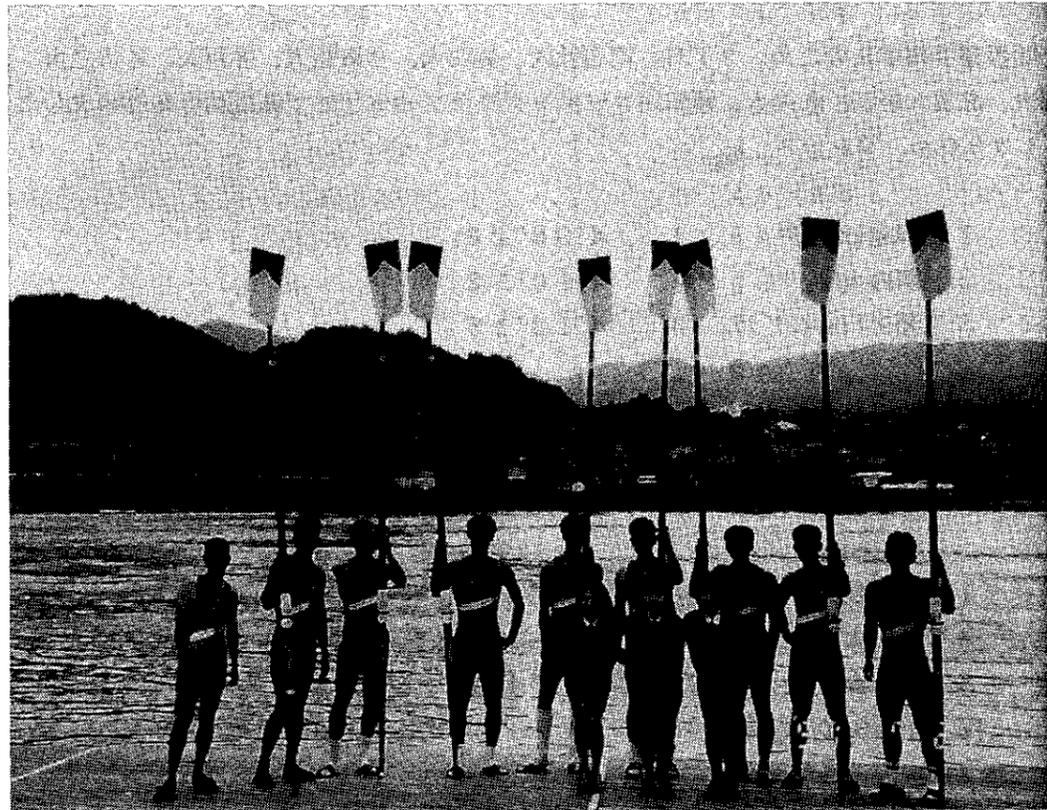
<参考>

第75回全日本選手権競漕大会

1997年6月12・13・14・15・日 於) 戸田漕艇場

<男子エイト>

決勝	2	慶應義塾大学	4	6'09"74
	3	日本大学	3	6'06"67
	4	中央大学	1	5'58"37
	5	法政大学	2	6'03"92



《会計報告》

平成9年度 収支決算書

支 出		収 入	
勘定科目	金 額	勘定科目	金 額
維持費	2,433,236	前期繰越金	11,707
資料費	103,103	学友会預託金	1,092,000
什器備品費	605,767	寄付金	1,295,348
医療費	294	個人負担金	9,122,100
交通費	396,594	受取利息	573
事務費	26,400	分担金収入	200,000
手数料	8,318	特別収入	2,566,816
消耗品費	80,578	入部金	11,000
渉外費	40,654	部費	171,900
通信費	344,375		
遠征費	870,578		
試合費	228,549		
出張費	74,440		
情宣費	125,726		
特別支出	211,805		
分担金支出	103,000		
用具購入費	389,543		
練習費	252,015		
連盟費	240,400		
記念費	1,102,871		
合宿費	6,337,911		
次期繰越金	495,281		
合計	14,471,444	合計	14,471,444

## 卒業生のことば



主将 山崎 安雅

私の最も重要としてきたものは「思う」ということであります。私達が生きていくうえで「思い」すなわち「目的」というものの重要性を否定することは何人もできないでありましょう。「目的」がある限り、人は前に進むことができます。たとえ回り道や壁にぶつかったとしても、前に向かう姿勢さえあれば後退することはありません。私がボート部の中で行ってきたことの第一に何を目標にしているのかを明確にすることでした。そしてその目標の前提にあるもの、同志社大学ボート部が持つ存在意義を明らかにすることも必要でした。私達ボート部員は「勝負の世界に生き、その結果をインカレで示す」ということで存在しており、部員は日々練習に励んでいるのです。「勝負の世界」が私達の存在意義であり、「インカレ」が目標であります。合宿をし、早期練習をし、厳しいメニューを立てるのはこのためなのです。これらの根底を支えるのは何か。それは「勝つ!!!」という気持ちではなかったでしょうか。この気持ちがない限り、己がおかれている現状から前進することも抜け出すこともできないし、己が持っている本来の力を100%出すこともできはしない。「勝つ」というのはただ単に「試合に勝つ」ことや「誰かに勝つ」ことではなく、「自分の限界に感じるラインよりも一歩だけ前に出ること」であります。その結果がインカレで出るので、その積み重ねは大変重要です。私の好きな言葉は「常勝」です。常に勝つことは難しいことでもあるが一歩前に出るだけでいいというのも事実です。前に出るためには勇気が必要ですが、その勇気はどうすればよいのか。自分一人では絶対に限界がくる。私の場合、勇気の源は同回生はもとより、監督、コーチ、そして一番の源は、後輩のみんなでした。このようにみんなに支えられて一年を送ることができました。一人一人その勇気を持ってこれから進んでもらいたい。

最後に、田中範興君には短い期間でありながら、大変大切なことを学ばせていただくことができました。範興君の気持ちを生涯忘れずに生きてまい

ます。みんなも彼の残してくれたものを大切にしてください。これからも頑張ってください。ありがとうございました。



副将 高石 徹

四年間、クラブを通じて感じたこと、後輩の皆に伝えたいこと等は、他の連中がしっかり書いてくれていることと思います。そこで私は、少し違ったものを書こうと思います。息抜き程度に目を通して頂ければ幸いに思います。

『繋がりなき絆—俺にとって巖川仁志とは何者だったのか—』

正直言って俺は未だにこいつと友達なのかよく分からないでいる。俺達は二人でいることが比較的多かったように思うのだが、お互いを含んでいる空気が混じり合ったことは、一度もなかった。一緒にはいるが同化していない、そんな関係だった。格好良く言えば、常にそこには異なる価値観の緊張関係があったといえるのではないだろうか。だからお互いに踏み込んでいけない領域が大きく存在し、一緒にいても口の中に砂を含んでいるような、そんな違和感があった。俺達には共有する精神世界もなく、意気投合することなども、ほとんどなかった。にも拘わらず、二人でいることが多かった。で、思うわけである。俺にとって、「巖川仁志」とは何者であったのかと。

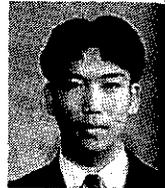
俺はあいつの友人の輪の中に、入っていくことはなかった。いや、出来なかったといった方が正しいだろう。あいつはそこではいつも笑顔を浮かべ、無理もなく溶け込み、自然に友達と呼べる関係がそこにはあった。それは、俺とあいつとの関係とは全く違うものであり、二人の距離の隔絶を強く認識させた。おそらくあいつにとって、その逆の場合もあったらと思う。そしてそれは、俺には何か悲しいことのように思えた。俺は誰からも愛される人間ではない。しかし、やはり友人でありたいと願う者との間には、何かを得たいと思う。だが、俺とあいつの間には、その何かは存在しない。一体、何が俺達を繋ぎ止めているというのだろうか。

おそらく、俺があいつに見ていたのは、自分にはない、自分にはなり得ない男の姿ではなかったか。俺は無意識に、あいつに色々学ぼうとしていたのかもしれない。だからこそ、共に多くの時間を過ごしたのだろう。この四年間、自分が変わったなと感じる部分が俺にはたくさんある。だがよく考えると、その殆どが、「巖川仁志」という男が押し広げてくれた価値観の地平線に存在することに気づかざ

るを得ない。先ほど、二人の間に価値観の緊張関係があったと述べたが、それは私の敗北の連続であったのである。

私は彼を、「友」と呼ばしてもらっていいのか分からない。しかし、彼は紛れもなくこの四年間、私の前に大いなる太陽として存在していたのである。

※この文章はフィクションであり、実在の人物とは関係ありません。



主務 土肥 康治

何から書こうか。あーでもない、こーでもない、かれこれ数時間も書き出しにとまどっている。原稿の期限は年末？だったような気がするが、今日の日付は悲しいかな、2月10日。明日が本当にぎりぎりの期限になりそうなので、こうして思案しているところな訳で。今回の原稿は、書くことがないから書き出せないのではなく、同志社大学ボート部での3年半をここに集約することができないであろうから書き出せないのである。

そんなことを考えながら、これまでの「力漕」を読んできた。私の前任、前任、はたまたその前の方の残されたこの「卒業生のことば」には、様々な思いがとても切実に簡略に記されている。そして先輩方は本当にいろいろなことに対して言いたいことがあるのにもかかわらず、毎年、毎年、あえて一言だけを強調していた…。ならば、と私も後輩達のために「一言」だけ残しておこうと思った。後輩達全員へ。同志社大学ボート部は、勝負にこだわる人間の集まりだ。だから「勝負にこだわれ。」このありきたりな言葉にはいろいろな意味が含まれてある是非ともおのおので考えてほしい。君たちの戸田での活躍を本当に期待している。

最後に、役不足な私を多岐にわたりうまく指導して下さった四方久男総監督、田中重次郎監督、押領司コーチ、同回のみんな、本当にありがとうございました。



副務・会計 石橋 欣也

ボート部に入ってよかったと心底思っています。様々な思い出が貴重な財産として残りました。ボートを通じて出会った多くの人々に感謝します。

現役の部員、マネージャー達は困難に打ち砕かれない強い人間を目指して辛く

楽しい瀬田での生活を満喫して下さい。



副務・学連 石井 宏明

同回のみんなへ

どういう理由か僕らの代は20人もの大所帯。本当にいろんな事があったけど、今になっては全部いい思い出になってしまった。特に最後の夏、哀しい終わり方になってしまったけれど、最後に賭けるみんなの姿は最高にかっこよかった。

監督、コーチ、先輩の方々へ

入部した頃は肉体的にも精神的にも子供だった私を鍛えていただき有り難うございました。皆さんの教えは私の貴重な財産です。

後輩のみんなへ

苦しいスタートにしっかりしたサポートをしてあげられなくて申し訳ない。しかし、君たちの熱い思いがあれば大丈夫。古豪同志社復活は任せた！

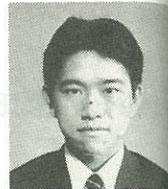


有馬 誠生

引退して数ヶ月が経った。

今、単調な生活を送りつつ、自分の中でボートと合宿生活がどれだけ大きなウエイトを占めていたかを、ひしひしと実感している。体が動かなくなるまで練習をし、バンテリンを塗りまくっていたあの日々がもう遠い昔のように思え、インカレという目標に向けて打ち込んでいける現役のみんなが非常にうらやましい。『どんなにつらい練習にも終わりが来る。エルゴ測定に必ず終わりが来るように。』だから、最後の一日、一 Motion、一ストロークまで勝利を信じて突き進んでくれ。また応援に行かせてもらいます。4年間本当にお世話になりました。同志社大学ボート部で学んだ全てのことを誇りとして生きていきます。

ありがとうございました。



岩田 勇人

後輩に残したい正統派メッセージ

“自分がこの部で何を成すのか”だけを大切に、自分勝手、利己的に自分をアピールして行ってほしい。

伝えたいのは、部内競争についてだ。振り返れば私は、この3年半、醜いほどに自分のこと、自分が充実することだけを考えて練習してきたと思う。目標を対校としての勝利に定めていたから、常に、どうすれば自分は勝ち残っているのか、どうやってみんなを出し抜くか、周りに追いつき差を付けるかということばかり考えていた。いつも、“自主的に引いたエルゴの本数の No.1 は俺や”という隠した自負に基づいて、強気にものをしゃべり自己主張した。読売巨人軍の川相昌弘選手は“自分の今の地位があるのは、自分の素質がゼロであることを知っているからで競争に勝ち抜いてこれたのはその都度、必要な能力を補充してきたからだ”と述べているらしい。私が大切にしてきたこと、伝えたいことはそれだ。

後輩達のボートに対する熱い思い、練習熱心さは知っている。大学生活をボート一筋にする犠牲はとて大きいのに、合宿所で共同生活をし、自分を追い込み続ける集団の一員になること自体の意義は無いに等しいと思う。どうか、もっと自分の青春を大切に、自分のプライドに素直に従うことを絶対にあきらめないように、さらに自分勝手な個に徹しても OK だ。みんなを見ていてそう感じた。



岡前 秀彦

中学・高校時代クラブに入っても長続きせず、体を持って余っていた私は、大学こそは、4年間打ち込める体育会のクラブで自分を鍛えようと心に決めていた。

今振り返ってみると、入部して2年間くらいは慣れない生活面のことや、技術がなかなか上達せず「自分はボートという競技に向いていないのではないか」と悩んだときも多かった。それでも三回生の時に、瀬田杯で優勝することができ、その時は、悩んだことも多かったのでとてもうれしかった。だからこれから現役部員もつらいことがあっても、途中で投げ出さずに、周りの仲間の力を信じて絶対に4年間続けてほしい。

その他、ボート部には色々な思い出があるが、引退してから思い出すのは楽し

かったことの方が多い。つらかったこととあわせて、その全てが私自身を成長させてくれたと感じている。特に、就職活動のことと、田中君の事故を通して人の命の重さについて考えたことは社会人になっていく上で貴重な経験になった。

最後に、試合は時間があれば必ず見に行こうと思うので、現役のみなさんが活躍している姿が見られることを期待しています。



徐 東駿

今、思うことは、自分はボート部でやってきて、大体において満足しているということだ。途中で腰を痛めて思うように治らず、悩んだ日々もあったが、今から思うとなんだか懐かしい。

ボート部で学んだことはボート部だけに限らず、いろいろある。合宿生活をしているため、どうしても他人を無視できないことや、他人から色々な生活態度を学んだりもしたことだ。入部したての頃と比べ今ははるかに体力的にも精神的にも充実していると思う。それはやはり途中で部活を投げ出さずに、最後までやってこれたという自分への自信につながっているのだと思う。

最後に、現役諸君がこれまで以上に努力し、活躍することを祈っています。みんな頑張れ！！



渋谷 一郎

今年は不幸な事故によって大切な部員を亡くしてしまい、インカレ出場も辞退となった。私は、対校エイトの漕手でありながら結局何一つ結果を残すことができなかった。その事実と今までのモーションを振り返ったとき、私は何をやってきたのだろうと考えた。何を得て何を失ったのか？私は最初入部した際、その時抱いていた自分自身に対する目標を達成できた。さらにレースの最中はあの緊張としんどさの中でも自分はまんざらでもないなと思うことができた。自分のことが好きになれる場所、それがボート部だった。反省はあるが後悔はない。

後輩達へ。自己の向上のためにあえて無理の利く人間になってほしい。苦しいときは初心を思い出し耐え抜いてほしい。そして勝利に向けて、自分を好きになるために日々頑張ってもらいたい。



高橋 功

思い起こせば、4年前の2月11日、初めてボート部合宿所に入った。年々重ねる毎に、私は、合宿所が好きになり、ボート部が好きになった。そして何よりも、かけがえのない仲間ができた。

ボートという競技を通して、己を磨き、様々な人に出会い、勝つための努力、そして喜びを知った。私にとってボートは、この4年間で、切っても切れない関係になった。私は将来、ボートを生涯のスポーツとして、取り組み、市民スポーツとしてのボートの活性化に貢献したい。

最後に、同志社大学ボート部の支援のために御尽力頂いた、多くの先輩方から心より感謝します。そして、これからボートを漕ぐ現役のみんな、自分を信じ、仲間を信じて、勝利を掴め！！



竹野内 直毅

月日の過ぎるのは早いもので終わってみると僕のクラブ生活もあっという間だったように思う。人それぞれにボートに対する考え方があると思う。僕は部員として人間の誰よりも優れた漕手になることを目標にしていたが、どんなに頑張っても周りはその上を行っていることが多く、だからこそ、それならばと今まで頑張ってきたのだと思う。勝負にこだわればそれだけ問題やもめ事は生まれるものだ。しかし、それを乗り越えたものにはそれだけの結果は出てくるものだ。だから皆この気持ちを持ってがんばってください。



内藤 竜一

大学に入った時、元オアズマンである叔父に尋ねられたことがある。「ボートの魅力の一つ言え。」その時、叔父の考えにそぐわないことばかり言った覚えがある。高校時代は自分の中でボートに対する意識はまだ低かったように思える。この四年間は本当にボート一色の毎日であった。初めて瀬田川でエイトを漕

だときの感触、同志社のオールを握ったときの喜びは今でも忘れることができない。自分の可能性にチャレンジできたことへの自信、マネージャーをはじめ、多くの人に支えられ艇を走らせるのだという責任感。たくさんの人に出会い、多くのことを学ばせてもらった。ボートとの出会いはかけがえのないものになり、ボートを心の底から好きになった。

スポーツ選手として意識は高く持っていたが戦績は決して満足のいくものではなかった。これから同志社のオールを握り続けていく後輩達には是非ともがんばってもらいたいと思う。大学生活でボートの魅力を存分に味わい心の底から好きになってほしいと思う。常にスポーツマンシップ（ファイティングスピリッツ、フェアプレー、フレンドシップ）を持ち、すばらしい、クラブにしていてもらいたい。

最後に、岡本先生、監督、コーチ、先輩方をはじめ、これまで支えてくださった方々、本当にありがとうございました。



中原 輝宣

ボート部での四年間は、日々練習の単純な四年間であったようにも思え、自分が大きく成長した激動の四年間であったようにも思えます。結果は何も残せませんでした。最後の一年は自分でも想像以上に頑張れ、やればやるほどもっとやれることを強く感じました。後輩のみなさんも、自分の能力をこれくらいだと限定してしまうことなく、時にはがむしゃらにやり抜いてほしいと思います。

何も考えずボートにのみ専念できたことは、OBの皆様始め多くの方の支援があったことと思ひ、改めて感謝いたします。



古川 顕生

ボートは、勝てなければ意味がない、勝った時だけ楽しさを味わえるという人は多い。

もしそうなら、ボートを漕ぐのに何の意味があるのだろうか。ボートをする事によって、すばらしい友人をつくり、上下関係を学び、根性がつく。しかしこれらのことはボートをしなくても得ることができるのではないだろうか。別のス

スポーツでも勝ったり、友人をつくったり、上下関係を学んだり、根性を付けたりすることが可能である。

もちろんこれらの事はとても有意義なことであるが、ボートというスポーツをするからには、ボートを漕ぐことによってしか得られない楽しみを毎日、味わってほしい。

幾川 仁志



同志社大学体育会49クラブの中には、数は少ないながらも寮生活中心といえる比較的ハードなクラブがあります。その中でも滋賀県大津市瀬田において年間300日合宿を行うという特異な練習形態をもつ同志社大学体育会漕艇部はそのようなものとなっていました。責任の取り方に個人差があるのは仕方のないことで代表的なクラブだと言っても過言ではありません。自分が体育会本部の役員であるという立場上、他のクラブの話をする機会に恵まれたので余計にそう思っています。そんなクラブであっただけに、初めて経験することだらけの毎日でした。まず、何と言っても合宿生活というものがそもそも初めての経験で、慣れるまでに相当苦労しました。プライベートというものがなく、普通のクラブ活動でまず見えない私生活の部分まで見えるので、最初の頃は習慣の違いに驚きました。その中で、神経質なやつや、大柄なやつ、いい加減なやつ、世話焼き等、色々なタイプの人間が出てきます。とりわけ個性の強い回生だと思うのに十分な者のまりなのでその傾向は極端な形で出ていたと思います。

大体、今まで生きてきて出会った人間のタイプに照らし合わせれば、たいていその人の人となりは分かるのに、今回はなかなかわかりませんでした。自分の住んでいた世界の小さいことに気づくには十分なほどでした。特に、徐、岡前、渋谷、功との出会いはそう思わざるを得ません。独特な見解と、その容貌から想像できない行動、理不尽さ、そして、何人たりとも止められない勢い。このワフフルな個性がぶつかり合うのを横で見ることができたことは自分の価値観を見直すという点で非常に勉強になりました。このことは、四回生になった今でも後輩から学んでいます。

次に、「勝利」という二文字への飽くなき追求という経験です。これは、体育会という集団であれば当然のことなのですが、なにせ、そういう他人を蹴落とす

世界に属さず、どちらかという私は、ちゃらんぽらんな連れとぬるま湯に浸かっていた方なので、これにも慣れるのに必死というかついていくのが必死というのが正直なところでした。そんな感じだったので、やめようと思ったりはしませんでした。よく四年間続けることができたと思います。今から思うと周りの特異な人たちがいい刺激になっていたから続いたと思います。一つの目標に向かって頑張るといふ楽しさを、周りから学ばせてもらえたからだと思います。

他にも、たくさん経験し学んだことはあるのですが、自分なりの答えを出せずにいるのは、田中範興君のことです。

この事故に関しては、現役部員はもちろん、体育会各部、同志社大学の関係者の方々やそれ以外の方々までにも程度の差はあれ何らかの影響があったと思います。そして、それぞれの分野で考え、行動してきたと思われま

しかし、自分自身の問題に置き換えた場合の自分の行動や発言は疑問が出るようなものとなっていました。責任の取り方に個人差があるのは仕方のないことですが「人が死ぬ」ということに直面したときの受け取り方の違いがこんなにも食い違っていいのかと思ったからです。クラブを中心となって引っ張っていた者の受け取り方、考え、行動に比べると、次元の違いを感じていた自分は、そういう人たちに引け目を感じていました。

実際、「人が死んだ」という認識は引退した今の段階でも薄いままで、人が死んだ後に行われる慣例的な行事から得ている認識だけが今持っている認識だと思っています。これは、接した時間とこれから接するであろう時間に比例して深まるものだと思うのですが、この件に無責任なところがまだある自分に疑問を持っています。いるのでそういう考えにも迷っています。

これから先、こういう機会に直面することが多くなるはずですが。そのときに、どれだけ自分の納得のいく形で、気持ちの整理ができるかが課題だと思っています。また、このときの周囲の対応の仕方から学べることもたくさんあることも分かったため、そういうことも生かしていきたいと考えています。

大学四年間で色々学ぶことが多く、特にボート部中心という限られた世界からも多くを学べたと思います。とりわけ、人間関係というものが自分自身多く学べたと思います。これからの、いろいろなスケールの世界で学ぶことがあると思っています。それを少しでも多く自分のものにしたいです。現役のみなさんも、吸収すべきものはどんどん吸収して理想の人間像を目指してください。

和田 大輔

みなさんお元気ですか。

こういう文章を書いていると「悲しい別れ」のようですが、私には希望にあふれた「始まり」に思えます。引退して二週間ほど経ちますが、過去が蘇っては動きを止めます。数多くの失敗や悲しみ、数少ない成功や喜びが私を押さえつけ、なんだか過去のシネマの中で生きているようにさえ思えます。と同時に私の生きた足跡が同志社大ボート部という伝統ある一ページの一行に刻まれることをとてもうれしく思います。「十年なんて永遠のようだ」とある小説の中で語られていますが、「2000mが永遠でない」と同様に必ず時間は過ぎ去りま

そしてその10年を振り返った時に納得のいくような生き方をしたいと思っています。最後に、私は、一人の凡人として、一流でない人間として「夢」を持って生

植西 理恵

引退して三ヶ月が過ぎた今、ボート部にいた頃のことを思い出すのは、電車

入部から引退までの三年半というのは、一つの目標に向かって皆でただひたすら走り続けた三年半でした。引退し、皆バラバラにそれぞれの道へ歩き出した

私は、この三年半で後悔することは何一つありません。平坦な道のりではな

最後になりましたが、お世話になった諸先輩方、同輩、後輩の皆さんに心か

感謝したいと思います。ありがとうございました。

小田 恭子

ボート部を引退した今、改めて振り返ってみると、この四年間は駆け足で過ぎ

最後になりましたが、岡本先生、諸先輩方、同輩、後輩の皆さん、大変お世話

林田 直子

ボート部での三年半は、最後まで新しい発見や驚き、戸惑いの連続でした。引

ただひとつ、私がマネージャーを続けてこられたのは、多くの人達の支えがあ

最後になりましたが、頼りない私を支えて下さった諸先輩方、後輩の皆さん、

**お知らせ**

**《お悔やみ》**

- 昭和 7 年卒 片岡 与三郎先輩
- 昭和 25 年卒 亀井 量太 先輩
- 昭和 29 年卒 小野木 伸 先輩

**《伝言板》**

S12年卒 内藤 謙二先輩

ニチメン退社以来13年、母校ボート部にも全くご無沙汰してばかりで申し訳なしです。艇上で共に苦勞した高橋宗、乾正治、松川寿久君が御元気の様子です。

高橋君を昨年瀬田に訪れ、合宿所も案内して頂きましたが、ご自宅が唐橋に近く、ご令息は二人共ボート部OB、お孫さんもボート部員なること大変感動しました。

同志社ボート部は歴史は古く、戦後はオリンピックにも出場したし、実に栄光ある部なのです。事故にもめげずに艇友会報で朗報をお知らせ下さい。

S16年卒 平井 八兵衛先輩

選手諸君は勝利を目指して懸命の努力をしているが残念ながら“勝つ”ことより見放されている感がある。我々ボート部にはオリンピック出場という快挙を始め幾多の輝かしい歴史がある。いつまでも負けていて良いものではない。ここらで脱変を図り、既成概念を打破、今何が欠けているのか、何が必要であるか。謙虚に反省し果敢実行、闘志と活力あふれる集団に脱皮してもらいたいものである。

“突進せよ断じて休むなかれ 汝はボートマンなればなり”

\* 上記の文章は昨年度の「力漕第4号」に同封した葉書をご返送下さったものです。「力漕」はOBの皆様に交流の場として広く活用して頂くことを目指しております。同期の方へのメッセージ、部員への励ましのお言葉、「力漕」への苦情等何でも結構ですので、お寄せ下さい。

名 簿

役員名	氏名	郵便番号	住 所	TEL
部長	岡本博公	535-0022	大阪市旭区新森4丁目6番16号	06-955-363 研究室 075-251-37
監督	田中重次郎	531-0076	大阪市北区大淀中1-12-7 インペリアル大淀403	06-453-916
コーチ	押領司 哲也	612-8154	京都市伏見区向島津田町2番地 ミリオンマンション2-E	075-603-66

《卒業生》

氏名	出身校	現住所・帰省先	TEL
有馬誠生 (法・法律)	戸畑	(現)〒601-8457 京都市南区唐橋琵琶町28 双愛寮	075-662-5035
		(帰)〒802-0052 福岡県北九州市小倉北区霧ヶ丘2丁目15-10	093-923-0907
石井宏明 (法・法律)	大阪貿易学院	(現)〒576-0043 大阪府交野市松塚35-16	0720-91-2880
石橋欣也 (法・法律)	川和	(現)〒600-8825 京都市下京区寺町仏光寺西入ル中之町555	030-676-1411
		(帰)〒226-0005 神奈川県横浜市緑区竹山2-2-4 2206-612	045-932-6131
岩田勇人 (経)	滝	(現)〒601-8457 京都市南区唐橋琵琶町28 双愛寮205号	075-672-5679
		(帰)〒507-0064 岐阜県多治見市北丘町8-1-350	0572-27-9385
岡前秀彦 (文・社会・社会)	同志社香里	(現)〒664-0874 伊丹市山田松ノ内10-14	0727-85-2651
渋谷一郎 (経)	高知道手前	(現)〒560-0056 豊中市宮山町4-16-19	06-845-9755
徐東駿 (商)	神戸	(現)〒602-0898 京都市上京区相国寺南門前町636-5	075-211-4512
		(帰)〒651-2276 神戸市西区春日台1丁目24の1	078-961-2254
高石 徹 (文・文化・文化史)	春日丘	(現)〒567-0832 大阪府茨木市白川3-1-8-304	0726-35-5929
高橋 功 (文・社会・産業界)	大谷	(現)〒520-2134 滋賀県大津市瀬田3丁目20-21	0775-45-6845
竹野内直毅 (商)	初芝富田林	(現)〒586-0077 大阪府河内長野市南花台4-4-8	0721-64-8843

氏名	出身校	現住所・帰省先	TEL
土肥康治 (工・物質科学)	膳所	(現)〒520-0533 滋賀県滋賀郡志賀町小野朝日2-13-1	0775-94-2344
内藤竜一 (文・社会・社会福祉)	熊本学園大附属	(現)〒602-0032 京都市上京区烏丸通今出川上ル一筋目西入ル岡松町258-1	096-362-0963
		(帰)〒862-0942 熊本県熊本市江津1丁目436-2	
中原輝宣 (商)	洛南	(現)〒611-0042 京都府宇治市小倉町南浦15-17	0774-20-1600
古川顕生 (工・機械システム)	今治北	(現)〒600-8266 京都市下京区上之町15あかね荘	075-351-4213
		(帰)〒799-2205 愛媛県越智郡大西町宮脇甲1273-7	0898-53-6153
山崎安雅 (商)	美方	(現)〒601-8457 京都市南区唐橋琵琶町28 双愛寮103号	050-660-0450
		(帰)〒919-1332 福井県三方郡三方町館川1-2-21	0770-45-2589
襲川仁志 (文・社会・社会)	清風	(現)〒590-0503 大阪府泉南市新家216-38	0724-84-3762
和田大輔 (商)	奈良女子大附属	(現)〒573-1158 大阪府枚方市北片鉢町12-22	0720-56-4585
植西理恵 (法・法律)	同志社女子	(現)〒520-2152 滋賀県大津市月輪5丁目15-17	0775-43-2321
小田恭子 (文・文化・国文)	同志社女子	(現)〒617-0833 京都府長岡京市神足2-3-3	075-951-6046
林田直子 (文・英文)	同志社	(現)〒607-8145 京都市山科区東野八反畑町58-3-506	075-581-9556

《現役部員》

現役部員	氏名	出身校	現住所・帰省先	TEL
4回生	和泉智彦 (工・物質科学)	基町	(現)〒610-0332 京都府綴喜郡田辺町興戸鉢立112 ユージェント・マワ-N506 (帰)〒739-2106 広島県東広島市高屋町稲木1524	0774-63-8125 0824-34-1702
4回生	坂口健 (商)	宇和島東	(現)〒520-2134 滋賀県大津市瀬田3丁目2-30 (帰)〒798-0002 愛媛県宇和島市大浦甲1771-46	0775-45-0702 0895-25-5689
4回生	玉置智雄 (商)	春日丘	(現)〒567-0006 大阪府茨木市耳原3-3-4-202	0726-43-1654
4回生	網嶋雄一郎 (文・社会・産業関係)	同志社国際	(現)〒631-0007 奈良県奈良市松陽台4-3-8	0742-41-4078
4回生	寺田忠則 (文・英文)	同志社国際	(現)〒590-0000 大阪府和泉市のぞみ野1-25-2-605	0725-57-5508
4回生	牧之瀬寛 (工・電気工)	清風	(現)〒630-0212 奈良県生駒市辻町25-34	07437-5-2831
4回生	石田あづさ (文・英文)	三島	(現)〒569-1104 大阪府高槻市安満東の町3-14	0726-85-2125
4回生	河野宏美 (文・英文)	大聖寺	(現)〒520-2132 滋賀県大津市神領二丁目13-9 101号 (帰)〒922-0834 石川県加賀市美谷が丘175番地	077-545-6857 07617-3-1307
4回生	中島千尋 (文・英文)	南	(現)〒551-0012 大阪市大正区平尾1-9-9	06-553-8610
3回生	大山智司 (商)	初芝富田林	(現)〒584-0036 大阪府富田林市甲田3-7-22-308	0721-23-2509
3回生	亀井健治 (経)	明法	(現)〒619-0246 京都府相楽郡精華町菱田山ノ下10 狛田クリーンハイツ322 (帰)〒184-0011 東京都小金井市東町1-16-4	0774-95-2002 0423-83-1848
3回生	北谷充 (商)	関西	(現)〒610-0313 京都府京田辺市三山木直田7 公成クリーンハイツ (帰)〒700-0080 岡山県岡山市津島福居2-4-14	050-650-1172 086-252-8531
3回生	小松正彦 (工・機械システム)	諏訪清陵	(現)〒610-0313 京都府綴喜郡田辺町三山木上谷浦4 ノース・リバー・ハイツ205号 (帰)〒392-0012 長野県諏訪市四賀桑原5233-1	0774-65-9753 0266-53-5700
3回生	高橋輝 (経)	同志社国際	(現)〒520-2134 滋賀県大津市瀬田2丁目1-16	0775-43-6650
3回生	若杉圭 (工・機能分子)	日大習志野	(現)610-0121 京都府相楽郡精華町下狛下新庄80-1 宮崎マンションII212 (帰)〒272-0023 千葉県市川市南八幡4-18-18-201	0774-93-3509 0473-78-6587
3回生	赤坂知紗 (経)	親和女子	(現)〒663-8154 兵庫県西宮市浜甲子園1丁目1-4	0798-48-7460
3回生	殷麻衣 (商)	親和女子	(現)〒659-0067 兵庫県芦屋市茶屋之町2-10	0797-32-9619
3回生	田中真由子 (経)	新島学園	(現)〒602-8006京都市上京区上長者町通室町西入ル 元土御門町522 元土御門202 (帰)〒379-0221 群馬県碓氷郡松井田町新堀1114-4	075-451-0151 0273-93-3308

現役部員	氏名	出身校	現住所・帰省先	TEL
2回生	井口順太 (経)	桜美林	(現)〒610-0332 京田辺市興戸東垣内57 中曾アパート10号室 (帰)〒229-1132 神奈川県相模原市橋本台1-13-3	0774-64-0683 0427-73-8032
2回生	辛島大輔 (工・機械工)	同志社国際	(現)〒610-0331 京田辺市田辺針ヶ池27 ダイブ新田辺101号 (帰)〒134-0091 東京都江戸川区船堀6丁目9番7-605	0774-63-6144 03-5674-3729
2回生	末広恭一 (文・社・産関)	宇和島東	(現)〒611-0042 宇治市小倉町天王48 (帰)〒798-3351 愛媛県北宇和郡津島町弓立225	0895-35-0440
2回生	空田一馬 (商)	初芝富田林	(現)〒590-1111 大阪府和泉市光明台2-46-21	0725-56-2161
2回生	銭谷剛史 (工・物質化学)	札幌月寒	(現)〒666-0024 兵庫県川西市久台4丁目1-50官舎2号	0727-55-8507
2回生	高橋毅 (商)	大谷	(現)〒520-2134 滋賀県大津市瀬田3-20-21	0775-45-6845
2回生	田中範興 (文・文化史)	富山第一	(現)〒930-0912 富山県富山市日俣153-8	
2回生	宮本健吾 (工・電気工)	白陵	(現)〒659-0053 兵庫県芦屋市松浜町15-18	0797-34-5702
2回生	山岡基 (商)	伏見工業	(現)〒612-8122 京都府京都市伏見区向島庚申町23-2	075-602-8280
2回生	吉田亮 (法・政治)	奈良学園	(現)〒634-0845 奈良県橿原市中曾司町178-4	0744-24-5809
2回生	菊山峰子 (法・法律)	同志社女子	(現)〒631-0032 奈良県奈良市あやめ池北3-7-13	0742-45-2902
2回生	津田弥紀 (文・英文)	智弁和歌山	(現)〒611-0027 京都府宇治市羽拍子町84 ホン宇治1601 (帰)〒649-6103 和歌山県那賀郡桃山町野田原467	0774-46-6283 0736-67-0355
2回生	中嶋紗恵子 (法・法律)	京都女子	(現)〒610-0111 京都府城陽市富野北角1-6	0774-52-1889

## 編集後記

同志社大学ボート部の活動を記録し、また、日頃ご支援ご協力をいただいております諸先輩方、ならびに各関係者の方々との交流を深めるべく創刊いたしました部報「力漕」もお陰を持ちまして第五号を迎えることができました。

今年度は、同志社大学にとりまして激動の年であり、諸般の事情もありまして、事実とはほど遠い内容になりましたことをお詫び申し上げます。来年度の「力漕」にかかしてまいりますので、ご助言、ご感想等いただけましたら幸いです。

第5号発行に際しまして、多大なる御理解、ご協力下さいました諸先輩方、各企業の方々、また地元商店の方々に対しまして、厚くお礼申し上げます。

今後ともご指導ご支援賜りますよう、お願い申し上げます。

同志社大学漕艇部

広報担当 河野 宏美  
田中真由子

同志社大学体育会漕艇部部報「力漕」

1997年3月末日発行

発行者 同志社大学体育会漕艇部

〒520-2132 滋賀県大津市瀬田3-2-30

TEL 077-545-0702

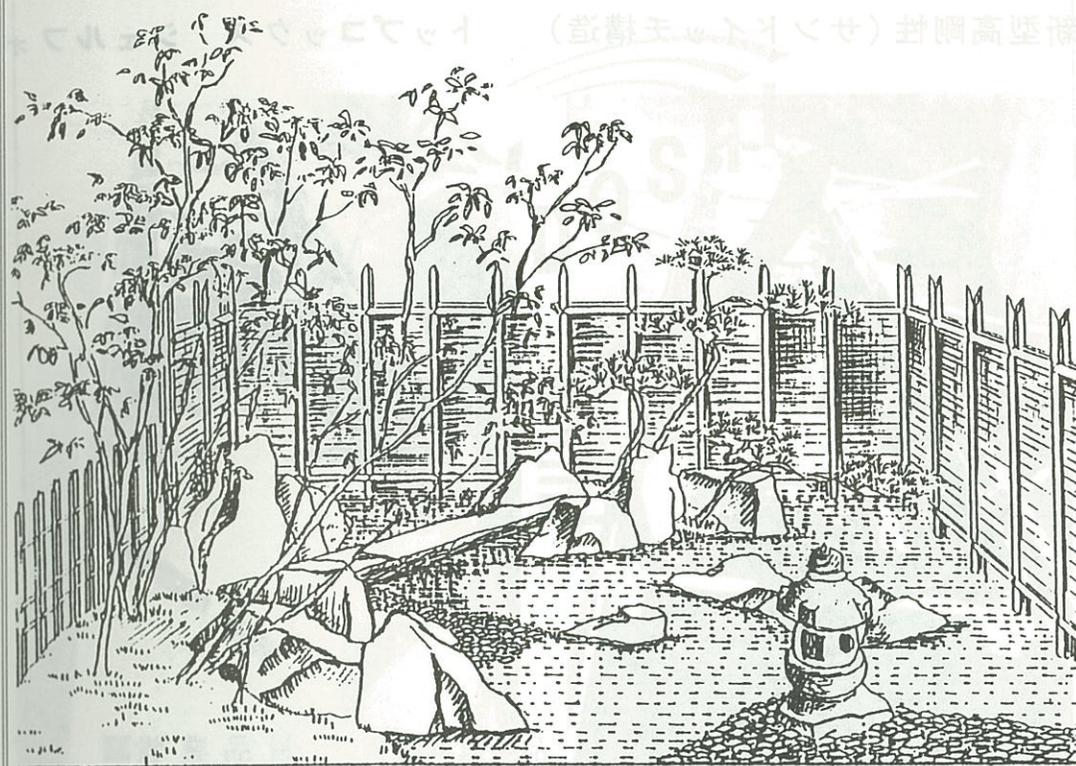
FAX 077-543-1194

広告掲載料振込先： 滋賀銀行 瀬田支店 普通預金

口座番号 474219

同志社大学ボート部「力漕」

代表 河野 宏美



暮しの中に、  
心和ます、京の庭

特定建設業許可番号(特-3)第17252号

石豊造園土木株式会社

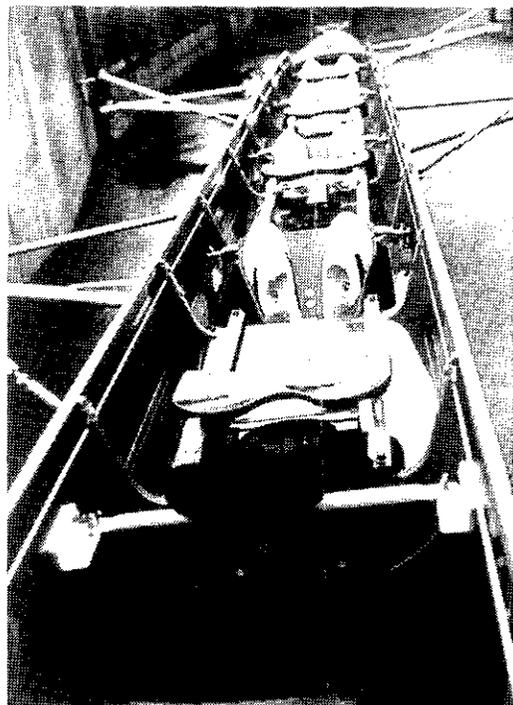
代表取締役 田中 安太郎

京都府久世郡久御山町中島20

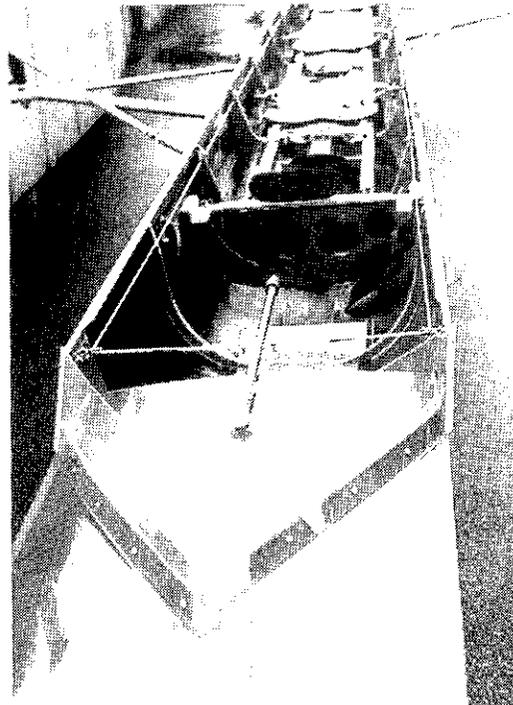
☎(075)631-6959(代)

FAX(075)632-1212

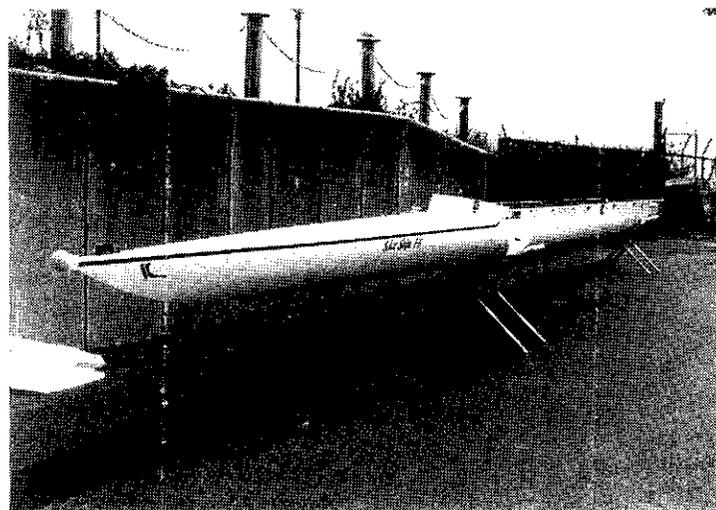
最新型高剛性(サンドイッチ構造) トップコックス シェルフォ



重量 (51.0~52.5kg)



長さ 12.80m 巾 0.48m 高さ 0.25



桑野造船株式会社

H9. 8月



(株) 吉年

■営業品目

可鍛鑄鉄製品  
 パーライト可鍛鑄鉄  
 ダクタイル鑄鉄製品  
 鉄道車両部品  
 自動車部品  
 産業機械部品  
 碍子金具

△ 印管継手  
 スミコート継手  
 Kコア継手、KWコア継手  
 △ ニップル  
 スミニップル  
 鑄物フランジ  
 その他の継手

本 社 〒586-8528 大阪府河内長野市上原西町16番1号

TEL(0721)53-3121(代) FAX(0721)54-1814

TEL(0721)53-3141(代) FAX(0721)53-3148

東京支店 〒104-0047 東京都千代田区内神田3-4-11千代田共同ビル7F

TEL(03)5297-8221(代) FAX(03)5297-8222



# 丸善宝飾

丸善宝飾株式会社

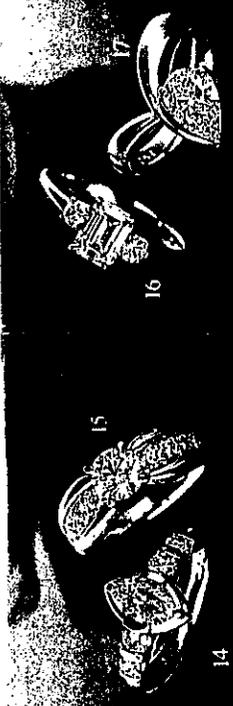
宝石・貴金属・オーダーメイド

シエネオーダー 丸善宝飾 阪神百貨店 4階特選サロン  
530大阪市北区梅田1-13-13 Tel.06-347-1151 Fax.06-347-1152

ブライダルジュエリー・引出物・記念品

ステップガーター 丸善宝飾 私学共済店  
ホテル大阪ガーデンパレス 1階 (私立学校教職員共済組合大阪会館)  
532大阪市淀川区西宮原1-3-35 Tel.Fax.06-392-1153

ステップガーター 丸善宝飾 公立共済店  
ホテルアウイーナ大阪 1階 (公立学校共済組合大阪宿泊所)  
543大阪市天王寺区石ヶ辻町19-12 Tel.Fax.06-771-5008



## 株式会社 王子製作所

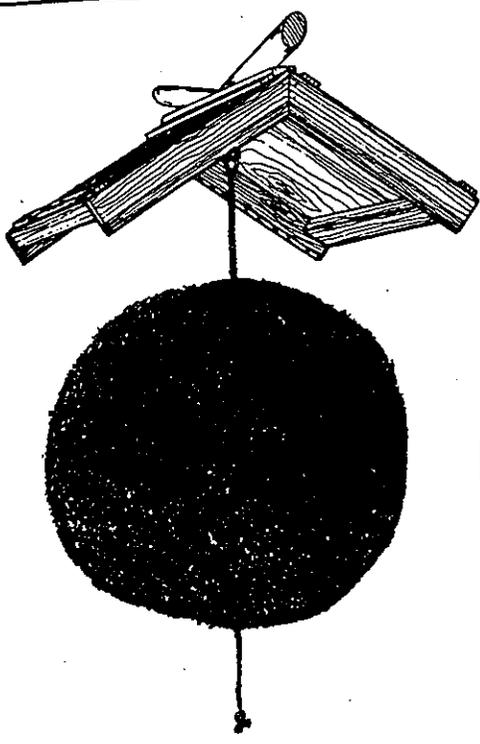
船舶用機装部品・建設機械部品  
並びに各種製缶加工・一般建築鉄骨施工

本社 兵庫県加古郡播磨町新島23番地  
電話加古川 (0794)37-1600代  
FAX (0794)35-6181  
丸亀工場 香川県丸亀市垂水町2747番地  
電話 丸亀 (0877)28-7004  
FAX (0877)28-5162

## 大久保自動車整備工場

大阪陸運局指定民間車検工場  
自動車整備・钣金・塗装・販売・保険代理店

兵庫県加古郡播磨町新島23番地  
電話加古川 (0794)37-1221代  
FAX (0794)35-6181



## 酒造の三百三拾年

有限会社 平井商店  
平井 八兵衛 (S16卒)  
大津市中央1丁目2-33  
TEL (0775) 22-1277  
FAX (0775) 22-2250



カード時代の商品券です。  
プリペイドの大丸くじやくカード。



ショッピングのたびに、ご利用年月日と残額を裏面に表示、  
小銭にわずらわされることなく、お買物が楽しめます。

●券種…3千円、5千円、1万円、3万円、5万円、10万円の6種類。

お求め・お問い合わせは 1階 商品券売場



DAIMARU  
大丸・四条烏丸  
電話 (075)211-8111

そば・一品料理

あ

づま

吾

孺

大津市瀬田一丁目19-31

TEL 077-545-0011

# ナカボ一株式会社

代表取締役 中島 俊一朗

本社：〒541-0047

大阪市中央区淡路町3丁目6番14号

Tel: 06-202-2552 Fax: 06-202-2590

中島毛糸紡績株式会社

本社工場：〒595-0033

大阪府和泉大津市板原370

Tel: 0725-33-1101

ナカボ一香港有限公司

Tel: 2362728 Fax: 2362560

Telex 45822 LAMBS HX

東京営業所：〒107-0061

東京都港区北青山3丁目5番30号

Tel: 03-3423-2550

中島(珠海)毛紡廠有限公司

広東省珠海市珠海九州大道

与迎賓大道交界处

Tel: 8880119

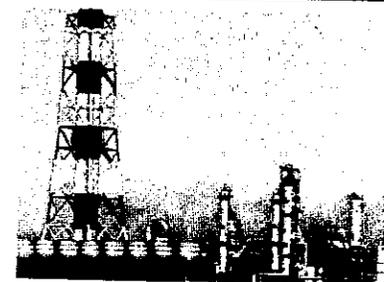
Fax: 880173



体力科学機器  
PHYSICAL  
SCIENCE



理科機器  
SCIENCE



産業科学機器  
INDUSTRIAL  
SCIENCE



YAGAMI

八神国際貿易株式会社 〒460 名古屋市中区丸の内三丁目2番29号  
TEL (052) 962 3811 / FAX (052) 971 1398

YAGAMI INTERNATIONAL TRADING CO., LTD.

HEAD OFFICE: NO.2-29, 3-CHOME, MARUNOUCHI, NAKA-KU, NAGOYA 460, JAPAN

TEL (052) 962-3811 / FAX (052) 971-1398 / TLX.0444-7507 YAGAMI J

CABLE ADDRESS: "YRSCO", NAGOYA

すっきりおいしい、がうれしい。

**zero** sugarless  
ゼロ・シュガーレスアイス



(抹茶)

(バニラ)

(チョコレート)

LOTTE ICE CREAM



近くて便利な

**南部自動車学校**

☎0596-23-1155(代)



**オートザム伊勢**

〒519-05 三重県度会郡小俣町元町1648-10  
AUTOZAM TEL:0596-27-3236 FAX:0596-27-3706

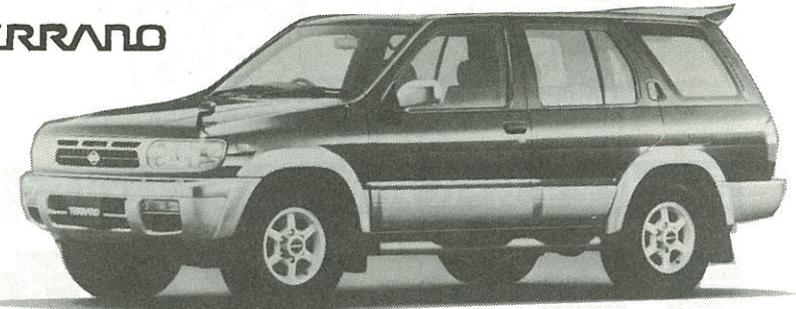
大東自動車株式会社

ますます  
テラノになる。

**DIESEL SPORTS 150PS**

新開発のQD32ETiエンジン搭載。Gシリーズ新登場。

TERRANO

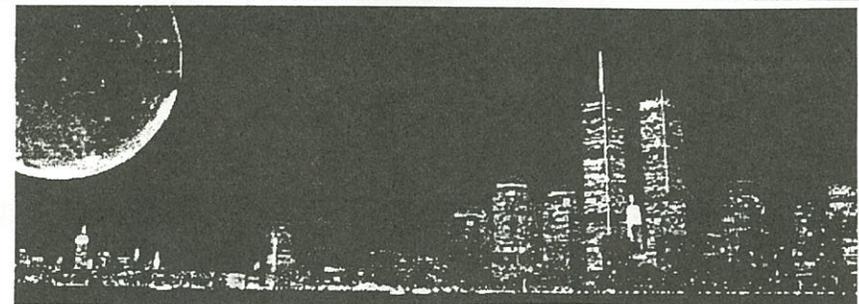


**大阪日産**

本社/大阪市福島区福島4丁目3番22号

お客様相談窓口(フリーダイヤル)

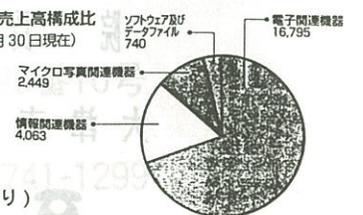
☎0120(39)2301



ホームページアドレス <http://www.nissho-ele.co.jp>

本社=東京 支社=大阪 支店=名古屋・広島・博多  
営業所=札幌・仙台・高崎・静岡 出張所=高松ほか  
米国現地法人=カリフォルニア州サンタクララ  
東京証券取引所二部上場、米国商務省認定ハイテク優良企業  
従業員数=754名(1997/4/1現在)、資本金66.4億円  
売上高=488.8億円、経常利益=20.8億円(97/12発行の中期決算報告書より)

●商品区別売上高構成比  
(平成9年9月30日現在)



日商エレクトロニクスは、世界160か所の情報ネットワークから先進のコンピュータ・テクノロジーをお届けしています。

**NE 日商エレクトロニクス株式会社**

〒104-8444 東京都中央区築地7-3-1 Tel.03(3544)8311(代表)



株式会社

入江工務店

〒606 京都市左京区田中西大久保町46  
TEL. (075)781-5703 FAX. (075)712-0025

代表取締役 入江 豊  
一級建築士

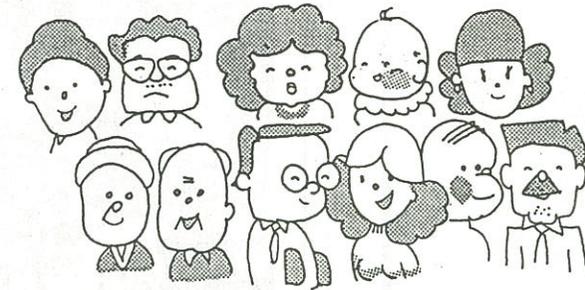
# 植西第三歯科医院

院長 植西 正

大津市一里山一丁目14-43

☎ (0775) 45-8328

## 家族の幸せは健康から



クスリ・処方せん調剤・漢方・資生堂化粧品

# h ハヤシダ薬局

〒601-13 京都市伏見区石田森南町32-1 TEL 075-572-9300  
(外環・武田病院、南となり) クスリ



ヴィーア 日 商

株式会社 ヴィーア日商

〒464 名古屋市千種区今池南29番10号  
川島第2ビル205号

TEL 052-741-1266 FAX 052-741-1299

代表取締役 殷 宅 基

日本酒とビール・  
ウイスキーの店

# 北井酒 店

瀬田商店街

☎0120-45-2113  
FAX 43-0220

大塚製薬  
If you're looking for stamina, it's Energen.

Energy when you want some stamina.

持久力がほつれれば  
エネルギー

energen

カフェ  
レストラン **アドリア**

湖岸道路唐橋下ル  
TEL (0775) 37-1439

ちゃんこ鍋、大皿料理

**万里也** 万里也別館サンまり也ビル4F  
(割烹料理万里也前)  
TEL 0775 (37) 0523

割烹料理・お食事処

# 万里也

〒520 大津市石山栄町2-4  
Phone (0775) 37-0523

●営業時間/正后より ●定休日/月曜日 ●駐車場完備

カフェレストラン アドリア 湖岸道路瀬田唐橋西詰下ル  
でんわ (0775) 37-1439

(有) 野 口 山 陽 堂

"良い品と一緒に送ろう真心を"

クッキング・デポ

# タイヘイ株式会社

京滋・北陸地区 滋賀営業所

〒520-30  
栗田郡栗東町小柿546  
0775 (53) 7440

政府登録

瀬田城址/旅亭

# 臨湖庵

〒520-2134  
滋賀県大津市瀬田二丁目13-26  
TEL (077) 545-4128  
FAX (077) 543-2226

政府登録国際観光旅館

びわ湖瀬田川畔

あみ舟  
元祖 あみ定

# あみ定

大津市唐橋町23-1  
TEL (0775) 37-1780(代)  
FAX (0775) 37-1791

証明写真・記念写真・出張写真

# コマイ写真館

石山・京都信用金庫前  
(松原バス停前)

TEL/FAX 37-3122

# 加藤内科胃腸科

院長 加藤 三郎

		月	火	水	木	金	土
午	9:00	○	○	○	/	○	○
前	12:00						
午	5:00		※				
後	8:00	○	/	○	/	○	/

休診：木・日曜日、祝祭日、火・土曜日の午後  
※但し火曜日の午後 1:00-5:00 迄は  
予約検査を致します。

☆ 来院時には、診察券を必ずご持参下さい。  
☆ 毎月初めには、保険証をお出し下さい。

大津市神領二丁目39-3  
(建部大社 東側)

TEL 大津 (0775) 45-8810

歯科・小児歯科・矯正歯科

## おかだ歯科医院

滋賀県大津市鳥居川町4-15  
TEL (077) 537-0177  
FAX (077) 537-0305

FOOD SHOP

# WACO

和晃商事株式会社  
神領店/滋賀県大津市神領3丁目8-5  
TEL. (077)545-2051  
FAX. (077)545-2087

—アルバイト募集中—



## 京阪シルク株式会社

代表取締役

### 新井喜範

京都市下京区五条通西洞院東入  
電話 075-351-2340 (〒600)  
FAX 075-351-4352

WOOD LIVES

「木」を愛し、「木」を活かす

—OMIZOが誇る工業技術。



## 大溝工業株式会社

代表取締役 阪田 良之助

木材製品、新建材、製造販売  
一般建築業(建築・大工・内装仕上工事)  
宅地建物取引業

本社 滋賀県高島郡高島町大字勝野  
(〒520-11)  
TEL(0740)36-0030  
FAX(0740)36-1213

鉄鋼・建材・各種ルーフ・  
ウオール・成型加工

## 松井金属工業株式会社

本社 〒600 京都市下京区高辻通柳馬場東  
入雁金町162 TEL 075-361-9341  
守山営業所 〒524 滋賀県守山市吉身四丁目3-19  
TEL 0775-82-3611  
舞鶴営業所 〒624 舞鶴市宇上福井8-4  
TEL 0773-76-2281  
久御山営業所 〒613 京都府久世郡久御山町大字田井小字  
新荒見181 TEL 0774-44-7131



shot bar & glutton club

## EASY ALL

大津市蛭谷706-4  
077 (537) 6627・6628

宿泊・会議・研修にご利用いただけます。  
ご予約・お問い合わせ↓

ご予約・お問い合わせ

## JSL 滋賀県青年会館

大津市唐橋町23番3号  
Tel 077(537)2753(代) FAX 077(537)2756

御生菓子司 南部瓢福堂

大津市石山唐橋町  
TEL 077 (537) 3030

ローソン瀬田一丁目店

大津市瀬田1-16-18  
TEL 077 (545) 0023

酒・米・食品・雑誌

## Seicomart

## セイコマート むらた

大津市瀬田1丁目15-3  
TEL 077(548)2801

焼き肉のフルコース世界一周

スタミナ料理・近江牛焼き肉

# 鹿門

本店：滋賀県大津市栄町17-1  
TEL 077-537-1319

ミスタードーナツ石山駅前店  
 大津市粟津6-3  
 TEL 077(534)3988

ブルート メンズサロン  
 大津市粟津9-23  
 TEL 077(534)1736

お好み焼き・鉄板焼  
 餃子専門店 万天  
 TEL 077(533)4489

お好み焼・鉄板焼 霞  
 メニュー豊富・お持ち帰りOK  
 TEL 077(545)4141

Marguerite  
 ヤマダヤ  
 石山店 077-537-1047 膳所店 077-526-1047

道利風珈琲 ヒラオカ  
 瀬田唐橋東湖畔  
 TEL 077(545)3030

電化ランド 西野  
 石山栄町商店街  
 TEL 077(537)1305

カトルルーム TANBA  
 大津市瀬田一丁目16-8  
 TEL 077(545)0226

カドー  
 大津市栄町9-9  
 TEL 077(537)1849

1981年3月  
 工学部機械学科 卒業 **荒山元秀** が  
 「企業を元気にする会社」を作りました。  
**集え!! 体育会系元気人達よ!!**

◎事業内容  
 コンピューターソフトウェア開発・販売・経営コンサルタント

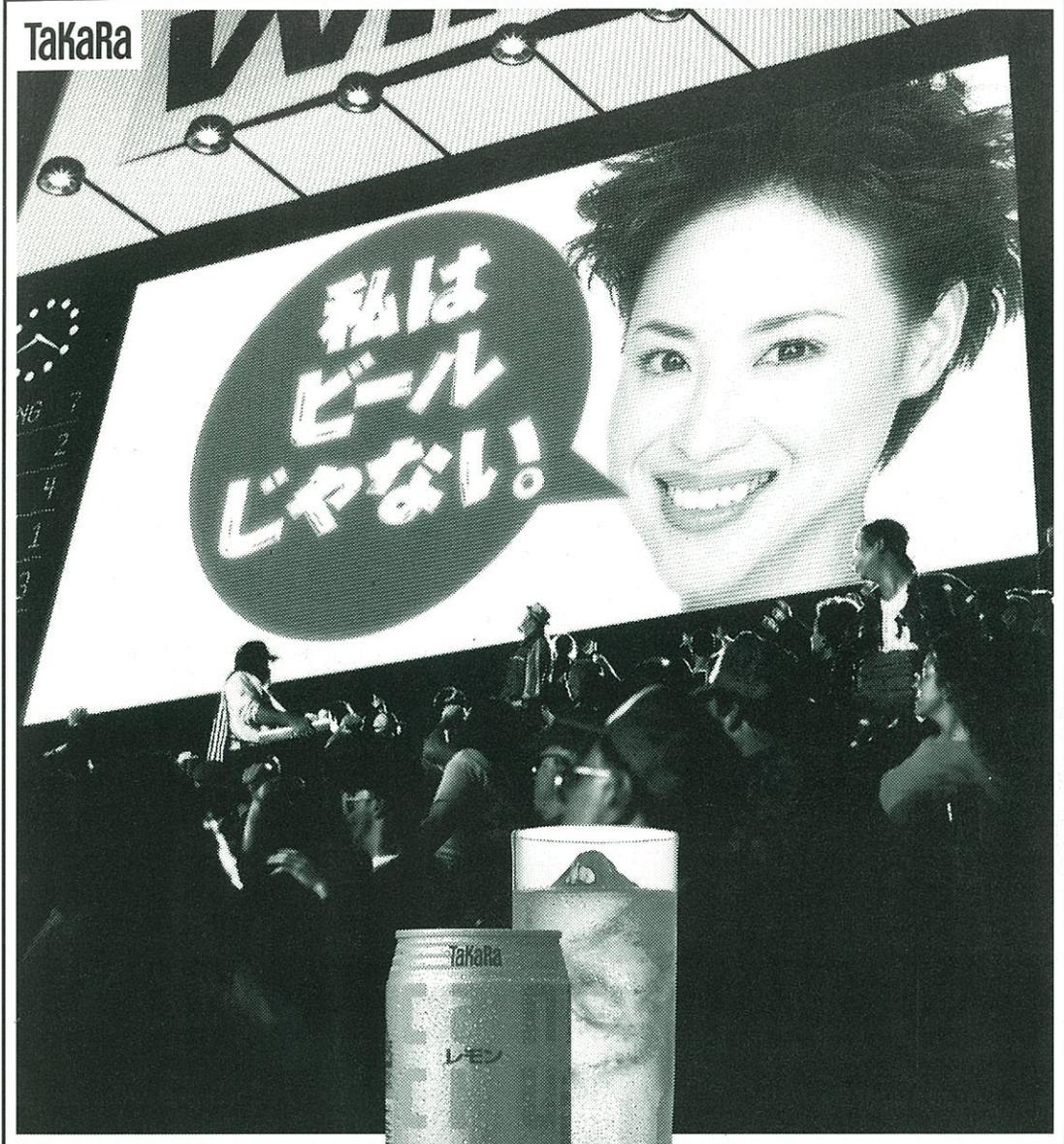
◎会社プロフィール  
 設立:平成7年1月18日  
 資本金:1000万円  
 従業員数:15名

◎メッセージ  
 設立から三年、会社もスタッフも若く、仕事に情熱を持っています。お客様に本当に役立つシステムの開発とインストラクションが仕事です。経験・技術・資格などは問いません。ただ、何となく仕事をするより、熱中して取り組める毎日を送りたい、そんなあなたならきっと満足してもらえます。

興味のある人はぜひ下記までご連絡下さい

**株式会社 マドック**

大阪府泉佐野市りんくう往来南3-7KAB7F  
 TEL:0724-69-6456 FAX:0724-69-6466



「うまいっ、ドライっ、爽快っ。」

**YES! カンチューハイ** **タカラカンチューハイ**

NEW NEW

お酒は20歳を過ぎてから。あき缶はリサイクルへ。

宝酒造株式会社

